



仙台高等専門学校
Sendai National College of Technology

学校概要 2011

平成23年度

高度化再編した 仙台高等専門学校とその理念

本校は平成21年10月に宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校が統合されて一つになったスーパー高専です。宮城高専は48年の歴史、仙台電波高専は40年、その前身の東北無線電信講習所も数えると68年の歴史をもち、これまで沢山の優れた卒業生を輩出してきました。この4月から新しい高専の1年生が入学し、名実共に新たな門出となりましたが、このように2つの高専が統合されたスーパー高専は全国に4つしかなく、その発展が期待され注目されています。

統合によって学科数を2つ減らして時代に適合した7学科構成に改めると共に、専攻科を強化して定員を約2倍に拡張しました。また、3つのセンター（地域イノベーションセンター、CO-OP教育センター、ICT先端開発センター）を設立し、地域社会との連携、地域貢献、人材育成等を目指しています。

資源の少ない日本が、国を支え、さらに世界に貢献していく国になるためには科学技術創造立国しかありませんが、その中核を支えるのは実践力や創造力のある技術者です。それもこれからの新たな技術に柔軟に対応できる基礎と応用力を持ち、何よりも人間性豊かな人材が必要不可欠で、それを育てるのがこの仙台高等専門学校の理念です。

今後、いよいよ激しい国際競争の時代になっていくと思います。これに打ち勝っていける実力を養うと共に社会に出た時はリーダーとして人を引っ張っていける人材になることが期待されています。そのためには実践的専門を学ぶと同時に一般教養や人間性をも学ぶ必要があります。このように考えると高専準学士課程の5年間あるいはその上の専攻科も入れた7年間は短かすぎるとも言える期間ですが、単に知識を学ぶだけでなく、密度の高い教育によって在学中に真の実力や人間性を養うと共に、卒業後も向上し続ける人材の育成を目指しています。

仙台高等専門学校 校長

内田 龍男

はじめに

- 02 校長挨拶
- 04 設立理念・教育目的
- 06 JABEE認定教育プログラム
高専の学校制度
- 07 全国高等専門学校分布図
- 08 教育体制
- 09 歴代校長・名誉教授
- 10 沿革

組織

- 12 組織図
- 13 教職員の定員・現員 役職員
- 14 運営組織図
- 15 高度化再編への取組
- 準学士課程
- 16 総合科学系
- 20 生産システムデザイン工学系(名取キャンパス)
 - 機械システム工学科……………20
 - 電気システム工学科……………22
 - マテリアル環境工学科……………24
 - 建築デザイン学科……………26
- 28 情報電子システム工学系(広瀬キャンパス)
 - 知能エレクトロニクス工学科……………28
 - 情報システム工学科……………30
 - 情報ネットワーク工学科……………32

専攻科

- 34 生産システムデザイン工学専攻
- 38 情報電子システム工学専攻
- 40 現行学科紹介
- 42 地域人材開発本部
 - 地域イノベーションセンター
 - CO-OP教育センター
 - ICT先端開発センター

INDEX
～目次～

校歌

保岡 直樹 作詩 江村 玲子 作曲

新たな時代を切り開く高専の夢と意気込み、
そして未来へ躍進する姿を明るく、力強く、格調高く表現

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 仰ぐ秀麗 蔵王の峰よ
萌ゆる若葉(みどり)に 心も躍る
自治の旗風(はたかぜ) あざやかに
たゆまぬ努力で 叡智を磨く
友よ究めん 科学の真理
ああ 仙台高専 夢呼ぶ我ら | 2. 名取・広瀬の ふたつの川も
ひとつになりて 大海原へ
友愛(あい)を奏でる 波の音
溢れる情熱(おもい)は 世界をめぐる
友よ語らん 我らの使命
ああ 仙台高専 漲(みなぎ)る力 | 3. 高き理想と 鍛えし技で
宮城(ここ)を要に 花咲く文化
新たな息吹 頬(ほほ)にうけ
豊かな創造 時代を拓(ひら)く
友よ学ばん 希望に燃えて
ああ 仙台高専 輝く未来 |
|---|---|--|

校章

心のある技術者、そして、心に訴えるものづくりができる人材を
育ててほしいという思いを込めて「心」を図案化



■デザイン

宮城高専・情報デザイン学科 平成21年3月卒業生

齋 明日美

施設

- 44 図書館
- 45 電子計算機室
創造教育センター
- 46 情報基盤センター
創造教育棟
- 47 実験実習試作室
電子デバイス試作室

学生と学生生活

- 48 定員及び現員
奨学生数
- 49 出身地別在学者数
本校への編入学者数
- 50 入学志願者数の状況
- 51 卒業生の進路状況
 - 進路状況……51
 - 就職状況……52
- 54 学校行事
- 55 学生会
- 56 学寮
- 57 学生相談室
特別支援教育推進室

財務

- 58 平成22年度決算
土地・建物

教育・研究等活動

- 59 外部資金受入状況
寄附研究部門
- 60 産学官金連携(協定)一覧
- 61 学術交流協定締結校一覧

キャンパス

- 62 名取キャンパスマップ
- 63 広瀬キャンパスマップ
- 64 アクセスマップ

設立理念

現在、社会から高専に期待されている「幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者の養成へ」に応えるために、2工学系7学科・専攻科2専攻及び3センターから構成される仙台高等専門学校の教育研究上の理念を下記のように設定する。

「高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のもののづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。」

教育目的

■学科の教育上の目的

生産システムデザイン工学系

平成22年度からの入学生

機械システム工学科

機械工学に関する確かな基礎力と、未来社会を担う電気・材料分野を融合した新機械工学分野に対する応用力を備えた、エンジニアリングデザイン能力の高い機械系技術者の養成を目的とする。

電気システム工学科

電気工学の基礎と技術の習得により、多岐に亘る応用分野を互いに関連づけながら総合的に支え発展させると共に、工学技術者として社会に貢献する人材の養成を目的とする。

マテリアル環境工学科

マテリアル・環境の講義・実験を通して、環境に視点を持ち、多様なマテリアル開発や工業製品への応用の素養をもつ技術者の養成を目的とする。

建築デザイン学科

建築耐震構造の安全性など災害への対応、高齢化社会及び障害者バリアフリーなど社会環境整備への対応、地方中小都市活性化への対応、環境共生・エネルギー問題への対応など、社会の要求が高度化している状況の中で、建築学に基礎を置き、住まいから都市に至る住環境・社会環境のプランニング&デザインを行うための基礎知識と基礎技術を身につけた技術者の養成を目的とする。

情報電子システム工学系

平成22年度からの入学生

知能エレクトロニクス工学科

インテリジェント(知能)化が進むエレクトロニクス機器の動作原理を理解するとともに、それらを開発するために必要とされる各種要素技術について幅広く学修し、ハードウェアを主体としてソフトウェアも十分に活用できる技術者の養成を目的とする。

情報システム工学科

コンピュータシステムの基礎から応用技術までを学修し、世界中に広がる情報を人々の生活に活用できる能力を有する技術者の養成を目的とする。

情報ネットワーク工学科

社会活動や人々の生活を支える最先端の情報ネットワークの構造と仕組みを、電気通信技術・ネットワーキング技術・ネットワークシステム技術の3つの柱のもとバランスよく学修し、情報ネットワークの設計・構築・運用・応用ができる技術者の養成を目的とする。

平成21年度までの入学生

機械工学科

融合技術に対応できる技術的・学問的素養を持ち、かつ、科学技術が社会環境に及ぼす影響や技術者の責任を念頭に置いて製品の開発等ができる人材を育成する。

電気工学科

電気工学関連分野の基幹技術と各種の工業技術を総合することにより、産業全般にわたる技術革新と、そこから始まる人々の生活の質の向上に寄与できる実践力に富む技術者を育成する。

建築学科

建築に関する基礎知識と基礎技術を身につけ、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的技術者を育成する。

材料工学科

多様化する新時代の材料工学への社会的要請に対処して、基礎となる材料科学を理解し、付加価値の高い材料を設計・開発・製造・保全できる技術者を育成する。

情報デザイン学科

情報分野とデザイン分野の幅広い知識・能力を持ち、社会が求めている人間や自然にやさしい「モノ」や「システム」を生み出すことのできる専門技術者を育成する。

情報通信工学科

多様な情報通信技術の基本的な機能や原理を理解し、情報処理・コンピュータネットワーク技術、伝送技術、情報通信の分野に貢献できる創造的なエンジニアの育成を目指す。

電子工学科

電子機器や電子回路及び光・電子デバイス等の基本的な機能や原理を理解し、ハードウェアとソフトウェア技術を融合させ、電子機器や電子システム開発に貢献できる創造的なエンジニアの育成を目指す。

電子制御工学科

多様な電子制御技術の基本的な機能や原理を理解し、ロボットなどを制御する技術を応用して、福祉やエネルギー・環境問題に貢献できる創造的なエンジニアの育成を目指す。

情報工学科

コンピュータの仕組みとそれを利用するための知識と技術を修得し、情報システムを設計・構築・運用・応用するなど、情報技術の専門家として貢献できる創造的なエンジニアの育成を目指す。

■専攻科の教育上の目的

平成22年度からの入学生

生産システムデザイン工学専攻

人類と自然が調和した社会の実現に資する、分野にとられない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身につけた、持続可能な社会を創造できる国際的に通用する技術者の養成を目指す。

平成22年度からの入学生

情報電子システム工学専攻

最先端の情報・電子製品を構成している情報システム・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザイン能力を身につけた、ものづくり日本の伝統を継承できる国際的に通用する技術者の養成を目指す。

JABEE認定教育プログラム

学問を教える工学教育から、技術者を育てる技術者教育への転換を実現し、かつ日本の技術水準を国際水準に整合させる目的で、日本技術者教育認定機構(JABEE)が設立されました。この制度は、平成13年度から始まり、3大学が認定を受けました。平成14年度は全国の23大学・高専専攻科、32プログラムが認定されました。仙台高専専攻科の前身である宮城高専専攻科と仙台電波高専専攻科は平成14年度に東北の大学、全国の高専専攻科では最初に認定を受けました。これにより、両校の教育システム・卒業生の能力が大学と同等であることが国際的に認められました。



JABEE修了証書授与式

■日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

名取キャンパス

生産システムデザイン工学プログラム

宮城高専専攻科の生産システムデザイン工学プログラムは平成14年度から工学(融合複合・新領域)関連分野で、JABEE認定を受けました。

広瀬キャンパス

情報電子システム工学プログラム

仙台電波高専専攻科の電子情報システム工学プログラムは平成14年度から工学(電気・電子・情報通信およびその関連分野)で、JABEE認定技術者教育プログラムとして認定されました。そして平成22年3月に、名称が情報電子システム工学プログラムに変更されました。

高専の学校制度

右図は、学校制度における、高専の学科(準学士課程)及び高専専攻科(専攻科課程)の位置付けを表しています。

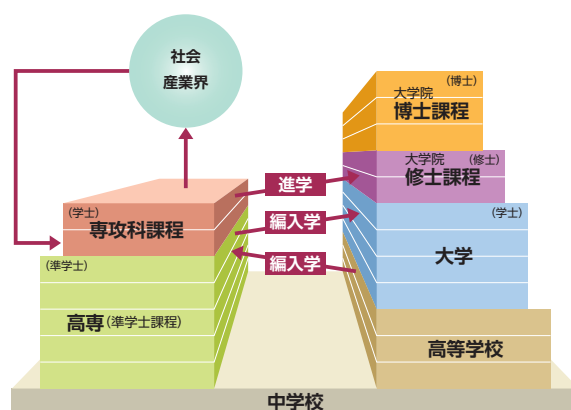
中学校卒業者は、高専(準学士課程)への入学の資格があります。

高校卒業者は、高専(準学士課程)への編入の資格があります。

高専(準学士課程)卒業者は、大学への編入の資格があります。

高専(準学士課程)卒業者は、高専の専攻科課程に進学する資格があります。

専攻科課程を修了して「学士」を得た者は、大学院への入学資格があります。



JA BEE 認定教育プログラム 高専の学校制度 全国高等専門学校分布図

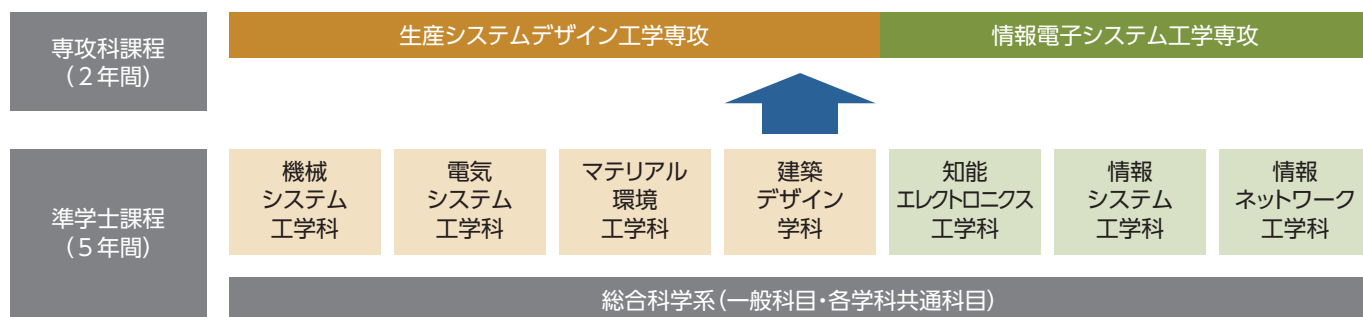


教育体制

■平成22年度からの入学生

学科	専攻科
- 生産システムデザイン工学系 - 機械システム工学科 - 電気システム工学科 - マテリアル環境工学科 - 建築デザイン学科	- 生産システムデザイン工学専攻 - 生産システム工学コース - 建築デザイン学コース - 情報デザイン学コース
- 情報電子システム工学系 - 知能エレクトロニクス工学科 - 情報システム工学科 - 情報ネットワーク工学科	- 情報電子システム工学専攻 - 情報電子システム工学コース

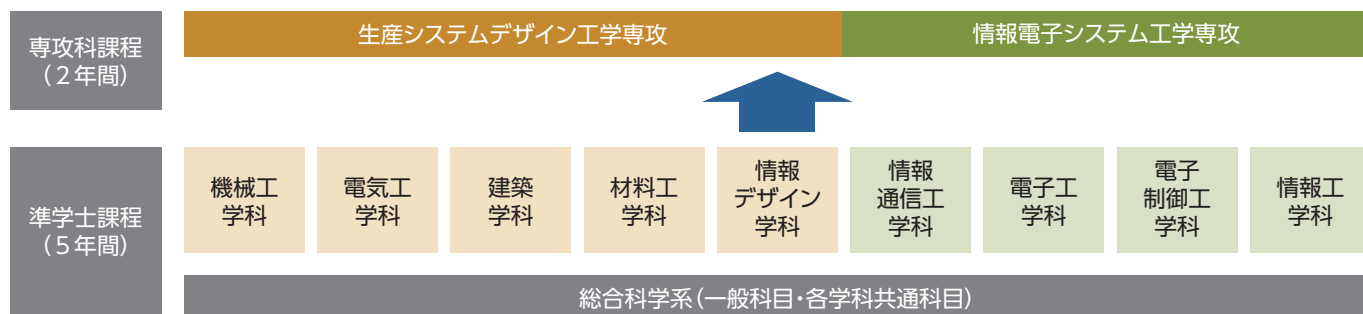
下図は、本校の教育体制（平成22年度からの入学生）における準学士課程（機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科、及び総合科学系）と、専攻科課程（生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻）の関係を表しています。



■平成21年度までの入学生及び平成24年度までの編入学生・平成23年度までの留学生

学科	専攻科
- 生産システムデザイン工学系 - 機械工学科 - 電気工学科 - 建築学科 - 材料工学科 - 情報デザイン学科	- 生産システムデザイン工学専攻 - 生産システム工学コース - 建築デザイン学コース - 情報デザイン学コース
- 情報電子システム工学系 - 情報通信工学科 - 電子工学科 - 電子制御工学科 - 情報工学科	- 情報電子システム工学専攻 - 情報電子システム工学コース

下図は、本校の教育体制（平成21年度までの入学生）における準学士課程（機械工学科、電気工学科、建築学科、材料工学科、情報デザイン学科、情報通信工学科、電子工学科、電子制御工学科、情報工学科、及び総合科学系）と、平成22年度から入学する専攻科課程（生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻）の関係を表しています。



歴代校長・名誉教授

平成23年4月1日現在

■仙台高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	宮城光信	平成21年10月1日～平成22年3月31日
第2代	内田龍男	平成22年4月2日～

名誉教授

氏名	称号授与年月日
宮城光信	平成22年4月1日
花熊克友	平成22年4月1日
千葉正昭	平成23年4月1日
生田信之	平成23年4月1日
高村潔	平成23年4月1日
伊藤憲雄	平成23年4月1日

氏名	称号授与年月日
青木恭介	平成23年4月1日
本間敏行	平成23年4月1日
逢坂雄美	平成23年4月1日
野田泰久	平成23年4月1日
加藤靖	平成23年4月1日

■宮城工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	黒川利雄	昭和38年4月1日
第2代	鈴木廉三九	昭和38年4月2日～昭和51年4月1日
第3代	河上房義	昭和51年4月1日～昭和58年4月1日
第4代	山口格	昭和58年4月1日～平成元年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第5代	矢澤彬	平成元年4月1日～平成7年3月31日
第6代	斉藤正三郎	平成7年4月2日～平成12年3月31日
第7代	四ツ柳隆夫	平成12年4月2日～平成19年3月31日
第8代	宮城光信	平成19年4月1日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
八巻壽亮	昭和53年4月1日
酒井昇	昭和62年4月1日
水谷敏	昭和63年4月1日
山口格	平成元年4月1日
古市慶一郎	平成2年4月1日
廣野周一	平成2年4月1日
小枝昌造	平成4年4月1日
石井浩	平成5年4月1日
伊藤繁巳	平成5年4月1日
斉藤克己	平成6年4月1日
早坂高則	平成6年4月1日
山田哲男	平成6年4月1日
矢澤彬	平成7年4月1日

氏名	称号授与年月日
早坂茂	平成7年4月1日
有川晋	平成8年4月1日
鈴木昭逸	平成8年4月1日
桑原隆夫	平成9年4月1日
木村茂	平成9年4月1日
渡辺宏	平成10年4月1日
阿部邦利	平成12年3月16日
千葉胤明	平成12年3月27日
斉藤正三郎	平成12年4月1日
岡田将彦	平成12年4月1日
大泉智壽	平成14年4月1日
小野堯之	平成15年4月1日
坂本政紀	平成15年4月1日

氏名	称号授与年月日
山田哲義	平成15年4月1日
百瀬丘	平成17年4月1日
丹野浩一	平成17年4月1日
庄司彰	平成18年4月1日
唐澤信司	平成18年4月1日
四ツ柳隆夫	平成19年4月1日
松浦真	平成19年4月1日
池田千里	平成19年4月1日
佐々木愼彦	平成20年4月1日
澁谷純一	平成20年4月1日
田口収	平成20年4月1日
吉田光彦	平成21年4月1日

■仙台電波工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	角川正	昭和46年4月1日～昭和49年12月21日
第2代	平原榮治	昭和50年4月3日～昭和58年3月31日
第3代	高橋正	昭和58年4月3日～平成2年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第4代	山田竹實	平成2年4月1日～平成9年3月31日
第5代	渡辺英夫	平成9年4月1日～平成17年3月31日
第6代	宮城光信	平成17年4月2日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
高橋正	平成2年8月16日
梅津英彦	平成2年8月16日
中川一郎	平成3年5月27日
横田慎一	平成8年4月1日
山田竹實	平成9年4月1日
古谷恒雄	平成10年4月1日
長島富太郎	平成12年4月1日

氏名	称号授与年月日
宮城篤	平成13年4月1日
中林撰	平成15年4月1日
竹内登志男	平成15年4月1日
根岸幸康	平成16年4月1日
三浦幹雄	平成16年4月1日
渡辺英夫	平成17年4月1日
細川幸也	平成17年4月1日

氏名	称号授与年月日
今野真	平成19年4月1日
浅見誠治	平成19年4月1日
服部正行	平成19年4月1日
福島正忠	平成19年4月1日
鹿股昭雄	平成20年4月1日
熊谷正純	平成21年4月1日

沿革

我が国の産業のめざましい発展と科学技術の著しい高度化に伴い、有為な技術者の養成が社会の各方面から強く要望され、昭和36年の学校教育法の一部改正により、高等教育機関として新たに中学校卒業程度を入学資格とする5年制の高等専門学校制度が発足しました。現在、51国立高専と3公立高専、3私立高専が設置されています。

本校は、宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校とを高度化再編し、平成21年10月1日に仙台高等専門学校(名取キャンパス・広瀬キャンパス)として設置したものです。

仙台高等専門学校(国立仙台高専)では、大括りの2工学系の中にそれぞれ複合技術分野の学科及び専攻科を設置し、準学士課程の充実と専攻科の拡充、社会人キャリアアップコースの設置による地域人材育成推進を図るとともに、地域連携・地域貢献の中心となるセンターを整備しています。

	宮城工業高等専門学校	仙台電波工業高等専門学校
昭和18年1月22日		(財)東北無線電信講習所設置
昭和24年5月31日		国立仙台電波高等学校となる
昭和38年4月1日	宮城工業高等専門学校設置 機械工学科、電気工学科、建築学科	
昭和43年度	金属工学科を新増設	
昭和46年4月1日		仙台電波工業高等専門学校となる 電波通信学科(2学級)
昭和52年度		電波通信学科1学級を電子工学科に改組
昭和53年度		情報工学科を新設
昭和60年度		電子制御工学科を新設
昭和61年度	金属工学科を材料工学科に改組	
平成元年度		電波通信学科を情報通信工学科に改称
平成3年度	2専門履修コース設置	
平成5年度	情報デザイン学科を増設	専攻科を設置 電子システム工学専攻 情報システム工学専攻
平成10年度	専攻科を設置 生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻	
平成15年度	JABEE認定 生産システムデザイン工学プログラム —工学(融合複合・新領域)分野—	JABEE認定 電子情報システム工学プログラム —電気・電子・情報通信及びその関連分野— (平成22年3月に名称が「情報電子システム工学プログラム」に変更)
平成16年度	独立行政法人国立高等専門学校機構 宮城工業高等専門学校となる	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台電波工業高等専門学校となる
平成17年度	機関別認証評価認定	機関別認証評価認定
	仙台高等専門学校	
平成21年10月1日	宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校を高度化再編し、仙台高等専門学校を設置 学 科／機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、 知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科 専攻科／生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻	

■宮城工業高等専門学校

学科(入学定員200人)

機械工学科 電気工学科 建築学科 材料工学科
情報デザイン学科

専攻科(入学定員20人)

生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻

●地域共同テクノセンター

■仙台電波工業高等専門学校

学科(入学定員160人)

情報通信工学科 電子工学科 電子制御工学科
情報工学科

専攻科(入学定員16人)

電子システム工学専攻 情報システム工学専攻

●地域連携テクノセンター

再 編／平成21年10月
学生受入開始／平成22年4月

高度化再編

・教育の質の向上
・地域産業界との連携強化
・高専広域連携の核

■仙台高等専門学校

学科(入学定員280人)

機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科
知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科 情報ネットワーク工学科

専攻科(入学定員70人)

生産システムデザイン工学専攻 情報電子システム工学専攻

地域人材開発本部

地域イノベーションセンター CO-OP教育センター ICT先端開発センター

■特 徴

2キャンパス・7学科の豊富な学科構成

名取キャンパスの生産システムデザイン工学系4学科と、広瀬キャンパスの情報電子システム工学系3学科とによる豊富な学科構成となっており、工学基礎力と融合複合領域への技術的・学問的素養を兼ね備えた、幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者を養成します。

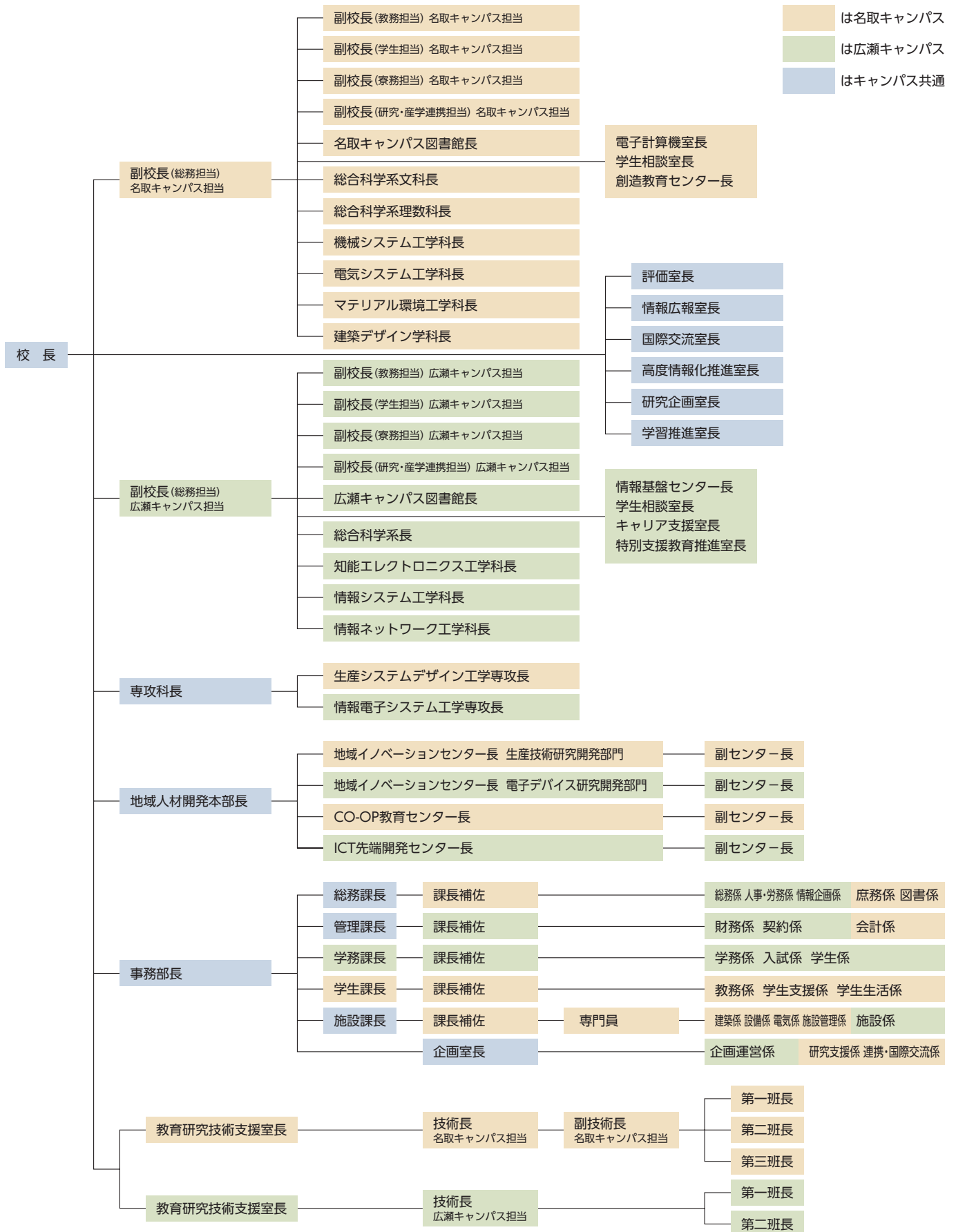
入学定員を大幅に拡張した専攻科

科学技術の進展が急速な社会で、国際的に活躍できる高度な実践的技術者を養成するために、高等専門学校の5年間の準学士課程の上に、入学定員70名の専攻科が設置されています。2年間の専攻科課程を修了後は、大学卒と同等の学士(工学)を取得することができます。

地域と社会に貢献する3つのセンター

地域社会との連携・地域貢献の核となる3つのセンターを設置し、地域の産業界との共同研究や技術相談、企業人材教育への協力、企業技術者と連携した高専教育の推進、地域の理科教育支援を強化し、地域と社会の発展に貢献します。

組織図



教職員の定員・現員

■定員

校長	教授	准教授	講師	助教	小計	職員	合計
1	64	63	0	13	141	90	231

■現員

校長	教授	准教授	講師	助教	小計	職員	合計
1	52	60	0	22	135	90	225

※教授・准教授数には特任教授・特任准教授を含む

■教員の年齢構成

年齢区分	教授		准教授		講師		助教		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21～30							4		4		4
31～40			14	1			14	3	28	4	32
41～50	12	1	30	4				1	42	6	48
51～60	23	1	7	1					30	2	32
61～70	15		3						18		18
計	50	2	54	6			18	4	122	12	134

役職員

平成23年7月1日現在

校長	内 田 龍 男
副校長(総務担当)・地域人材開発本部長 名取キャンパス教育研究技術支援室長	丹 野 顯
副校長(教務担当)・教務主事	石 山 純 一
副校長(学生担当)・学生主事	佐々木 典 彦
副校長(寮務担当)・寮務主事	伊 藤 昌 彦
副校長(研究・産学連携担当) 地域イノベーションセンター長	内 海 康 雄
名取キャンパス図書館長	武 田 淳
総合科学系文科長	佐 藤 安 功
総合科学系理数科長	鈴 木 勝 彦
機械システム工学科長・機械工学科長	佐 藤 一 志
電気システム工学科長・電気工学科長	櫻 庭 弘
マテリアル環境工学科長・材料工学科長	佐 藤 友 章
建築デザイン学科長・建築学科長	飯 藤 將 之
情報デザイン学科長	本 郷 哲
生産システムデザイン工学専攻長	遠 藤 昇
CO-OP教育センター長	櫻 井 宏
事務部長	及 川 洋 輝
総務課長	山 田 純 司
学務課長	松 本 仁 一
施設課長	加 藤 春 夫

副校長(総務担当)・専攻科長 広瀬キャンパス教育研究技術支援室長	竹 茂 求
副校長(教務担当)・教務主事	佐 藤 公 男
副校長(学生担当)・学生主事	高 橋 薫
副校長(寮務担当)・寮務主事	藤 木 なほみ
副校長(研究・産学連携担当)	羽 賀 浩 一
広瀬キャンパス図書館長	佐 藤 敏 行
総合科学系長	福 地 和 則
知能エレクトロニクス工学科長	馬 場 一 隆
情報システム工学科長・電子工学科長	竹 島 久 志
情報ネットワーク工学科長・情報工学科長	脇 山 俊一郎
情報通信工学科長	藤 木 なほみ
電子制御工学科長	大 泉 哲 哉
情報電子システム工学専攻長	馬 場 一 隆
ICT先端開発センター長	菅 谷 純 一

管理課長	高 橋 嘉 典
学生課長	齋 藤 雅 樹
企画室長	志 田 享

運営組織図



高度化再編への取組

国立高専の高度化再編では、異なる特徴・強みを有する複数高専の教育研究資源を結集し、特色を持った新しいモデルの新高専を設立しました。（平成21年10月開校、平成22年4月学生受入開始）

- | | | |
|--------------------------|---|----------|
| ●宮城工業高等専門学校／仙台電波工業高等専門学校 | → | 仙台高等専門学校 |
| ●富山工業高等専門学校／富山商船高等専門学校 | → | 富山高等専門学校 |
| ●高松工業高等専門学校／詫間電波工業高等専門学校 | → | 香川高等専門学校 |
| ●熊本電波工業高等専門学校／八代工業高等専門学校 | → | 熊本高等専門学校 |

■社会や産業構造の変化に対応した準学士課程の学科再編と教育の充実

- (1) 大括りの系の下に複合技術分野の学科を置くなどし、異なる分野の融合や特色の明確化を図ります。
- (2) キャンパス・系・学科を異にする教員が協力し合って、複合的な内容の共通基礎教育の提供、豊富な選択科目・実習等の設定、ICTを活用した遠隔教育の実施などによる教育の充実を図ります。
- (3) 地域社会のニーズに対応した新しい分野（医工学、バイオ、食品、農業など）への展開を積極的に検討します。

■高度な人材養成ニーズに応える専攻科の拡充

- (1) 地域産業界ニーズの高度化に対応した専攻科の再編と定員拡充を図ります。
- (2) 国立高専専攻科の次のような特徴を一層発揮して、高い課題設定・解決能力を有する実践的・創造的技術者を養成します。
 - 技術者としての創造的実践の重視
 - ・現実の技術的課題に基礎を置いた課題設定型学習（PBL）の実施
 - ・異なる学科卒業生の融合による複眼的視野と経営感覚の育成
 - 地元企業との密接な連携
 - ・1ヶ月以上の長期インターンシップや企業との連携によるCO-OP教育の実施
 - ・企業等の退職技術者を講師としたものづくり技術の伝承
 - JABEE（日本技術者教育認定機構）によるプログラム認定
 - ・準学士課程・専攻科を通じた複合的・融合的な工学教育プログラムとしての認定
 - ・国際的に通用する技術者養成プログラムとして高い評価

■地域社会や広域での連携機能の強化

各国立高専に地域人材開発本部を置き、各地域の特性に応じたセンターを設置し、以下のような事業を推進します。

- (1) 地域の中小企業等との教育および研究の両面の連携協力を一層強化します。
- (2) 地元の技術者等やUターン人材を対象に、企業の技術力強化や技術者のキャリアアップにつながる社会人再教育プログラムを積極的に提供します。
- (3) 地域の教育委員会等と連携して、小中学生の理科への関心を高めるためのプログラムを積極的に提供します。
- (4) 海外からの留学生の受け入れ、海外の大学、ポリテクニク等との連携による学生・教員の相互交流などの国際交流を積極的に推進します。
- (5) 県内にとどまらず、東北、東海北陸、四国および九州の広域的な拠点として、域内の高専間の連携を図り、産業界や大学との広域連携体制を構築します。



仙台高専高度化再編記者発表



仙台高専開校記念式典・祝賀会

総合科学系

今日のように地球規模の環境破壊が急速に進み、社会の国際化がめざましい勢いで進展する中では、広い視野に立って人類共通の利益に奉仕できる技術者を育てることが重要です。そのために本校は技術者として必要な専門科目の教育はもとより、一般教養科目も重視し、力を入れて教育をしています。総合科学系では人文社会系科目に視聴覚教材を積極的に取り入れたり、理数系科目では実験実習を多く取り入れ、楽しく学びながら基礎的な力を養うことができるように工夫しています。総合科学系では一般科目を主に担当しますが、そのほかにも応用物理、情報処理等の専門科目も担当します。さらに高学年の卒業研究の指導にも力を入れています。



MM教室



数学の授業風景

■教育課程【一般科目】

機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	国語表現	1			1			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	倫理	2		2				
	政治経済	2			2			
	英語ⅠA	3	3					
	英語ⅠB	2	2					
	英語ⅡA	3		3				
	英語ⅡB	2		2				
	英語ⅢA	3			3			
	英語ⅢB	2			2			
	保健体育Ⅰ	3	3					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	微分積分Ⅱ	4		4				
	微分積分Ⅲ	3			3			
	代数幾何	3		3				
	物理Ⅰ	2	2					
	物理Ⅱ	3		3				
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	小計	64	24	25	15	0	0	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	応用数学	2				2		
	化学概論	1				1		
	外国語ⅣA	2				2		
	外国語ⅣB	2				2		
	外国語ⅤA	2					2	
	外国語ⅤB	2					2	
	英語・英米文学A	1				1		
	日本文学A	1				1		
	比較文化論A	1				1		
	科学技術史A	1				1		
	英語・英米文学B	1				1		
	日本文学B	1				1		
	比較文化論B	1				1		
	科学技術史B	1				1		
	健康とスポーツ	1				1		
	健康学A	1					1	
	哲学A	1					1	
	日本史学A	1					1	
	社会経済学A	1					1	
	健康学B	1					1	
	哲学B	1					1	
	日本史学B	1					1	
	社会経済学B	1					1	
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	総合科目A	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	長期インターンシップA	4					4	
	小 計	35以上	2以上	1以上	2以上	18以上	18以上	
開設単位数計		99以上	26以上	26以上	17以上	18以上	18以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

■教員【文科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授 教育学修士 佐藤 安 功	倫理、工業倫理、外国語B、比較文化論A、哲学A・B
教授 文学修士 鯨井 千佐登	世界史、日本史学A・B、歴史と文化
教授 平 間 哲 雄	保健体育Ⅰ、保健体育、健康学A・B
教授 武 田 淳	英語ⅠA・ⅠB、創造実習、英語Ⅰ・Ⅱ、総合セミナーA・B、文献講読、卒業研究
教授 修士（教育学） 岡崎 久美子	英語Ⅱ、英語表現
准教授 文学修士 菅野 洋 行	総合英語、外国語A、英語・英米文学A、英語・英米文学B
准教授 文学修士 伊勢 英 明	国語Ⅱ、国語表現、日本文学A・B
准教授 文学修士 佐藤 和 彦	英語ⅠA、外国語A
准教授 修士（スポーツ科学） 柴田 尚 都	保健体育Ⅰ、保健体育
准教授 修士（文学） 千葉 幸一郎	国語Ⅰ、国語表現、日本の言葉と文学
特任准教授 佐々木 誠 逸	総合英語、外国語A
助教 博士（文学） 久保 堅 一	国語Ⅰ、国語表現

【理数科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授 理学修士 徳 能 康	基礎数学A、代数幾何、解析学、線形代数学
教授 工学博士 石 山 純 一	化学Ⅰ、科学技術史A、総合科目A・B（環境ビジネスコンテスト・教材コンテスト）、総合セミナー（材料）、卒業研究（材料）、材料セミナー、生物化学
教授 博士（工学） 遠藤 智 明	化学Ⅰ、化学概論、総合セミナー（材料）、卒業研究（材料）、材料セミナー、環境化学概論
教授 博士（工学） 今 野 一 弥	物理Ⅱ、応用物理Ⅰ・Ⅱ、電気工学実験、総合セミナー（材料）、卒業研究、材料セミナー、応用物理学、磁性材料学
教授 理学修士 野 本 俊 夫	物理Ⅰ・Ⅱ、応用物理Ⅰ・Ⅱ、電気工学実験、総合セミナー、卒業研究
特任教授 工学博士 生 田 信 之	基礎数学B、微分積分Ⅱ、微積分、総合セミナー（材料）、卒業研究、磁性材料学
特任教授 理学修士 高 村 潔	微分積分Ⅱ、代数幾何、微積分
准教授 博士（理学） 谷 垣 美 保	基礎数学A、微分積分Ⅱ、微積分、総合科目A・B（環境ビジネスコンテスト・教材コンテスト）、確率統計概論
准教授 博士（理学） 小 野 慎 司	基礎数学B、代数幾何、微積分、物理Ⅰ
准教授 博士（理学） 井 海 寿 俊	基礎数学A、微積分
助教 博士（理学） 山野内 敬	基礎数学B、微分積分Ⅱ、応用物理

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

■教育課程【一般科目】

知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	国語表現	1			1			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	倫理	2		2				
	政治経済	2			2			
	英語ⅠA	3	3					
	英語ⅠB	2	2					
	英語ⅡA	3		3				
	英語ⅡB	2		2				
	英語ⅢA	3			3			
	英語ⅢB	2			2			
	保健体育Ⅰ	3	3					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	微分積分Ⅱ	4		4				
	微分積分Ⅲ	3			3			
	代数幾何	3		3				
	物理Ⅰ	2	2					
	物理Ⅱ	3		3				
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	小 計	64	24	25	15	0	0	



数学の授業風景

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	日本語文化論	1				1		
	人文科学特論	1				1		
	社会科学特論	1					1	
	人間科学特論	1					1	
	化学特論	2				2		
	生物学	2					2	
	地学	2					2	
	スポーツ	1				1		
	技術者倫理	2					2	
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	1				1		
	実用英語Ⅰ	1					1	
	実用英語Ⅱ	1					1	
	総合科目A	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	21以上	2以上	1以上	2以上	10以上	12以上	
開設単位数計		85以上	26以上	26以上	17以上	10以上	12以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 教育学修士 福 地 和 則	英語ⅠB、英語ⅢC、英語演習Ⅱ
教授 修士(教育学) 名久井 孝 義	保健体育Ⅱ、スポーツ
教授 修士(工学) 佐 藤 敏 行	基礎数学A
教授 博士(理学) 小 松 京 嗣	化学Ⅰ・Ⅱ、物理化学
教授 修士(児童学) 矢 澤 睦	地理、英語ⅡB
教授 修士(教育学) 久保田 佳 克	英語ⅡA、英語演習Ⅱ、倫理
特任教授 理学博士 逢 坂 雄 美	代数・幾何、微分・積分Ⅱ、応用数学A
准教授 文学修士 竹 内 素 子	英語ⅠA、英語C、英語演習Ⅰ
准教授 文学修士 空 井 伸 一	国語、国語Ⅱ

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 修士(文学) 武 田 拓	国語、国語Ⅰ
准教授 博士(理学) 岡 本 圭 史	微分・積分Ⅱ、微分・積分、情報数学
准教授 博士(工学) 穂 坂 紀 子	物理Ⅰ・Ⅱ、物質の構造と性質
准教授 博士(理学) 下 田 泰 史	基礎数学B、代数・幾何、線形代数学
准教授 博士(理学) 兼 下 英 司	物理Ⅱ、微分・積分、応用数学A
准教授 博士(文学) 笠 松 直	倫理、人間科学特論、思想史
助教 修士(国際文化) 朴 槿 英	
助教 修士(障害科学) 兼 村 裕 介	保健体育Ⅰ、保健体育Ⅲ

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

機械システム工学科

ものづくりに必要な「学ぶ力」と「つくる力」を身に付けます。ものづくり技術では、生産性や経済性だけではなく、安全性や機能性についての配慮など、複合的観点からの改善や向上が必要とされています。機械システム工学科では、新時代のものでつくる技術者、すなわち、融合技術に対応できる技術的・学問的素養を持ち、科学技術が社会環境に及ぼす影響や技術者の責任を念頭において製品開発ができる人間性豊かな技術者の育成を目指しています。



スターリングエンジンの製作



流体力学実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	機械工作法Ⅰ	1	1					
	機械工作法Ⅱ	1		1				
	機械工作法Ⅲ	1			1			
	設計製図Ⅰ	2	2					
	設計製図Ⅱ	2		2				
	設計製図ⅢA	2			2			
	設計製図ⅢB	2			2			
	設計製図ⅣA	2				2		
	設計製図ⅣB	2				2		
	設計製図Ⅴ	2					2	
	工作実習Ⅰ	2	2					
	工作実習Ⅱ	2		2				
	工作実習Ⅲ	3			3			
	創造実習	1		1				
	基礎電気	1		1				
	情報処理	2			2			
	材料力学ⅠA	1			1			
	材料力学ⅠB	1			1			
	材料力学ⅡA	1				1		
	材料力学ⅡB	1				1		
	応用物理A	1			1			
	応用物理B	1			1			
	機械力学	1				1		
	流体力学A	1				1		
	流体力学B	1				1		
	熱力学A	1				1		
	熱力学B	1				1		
	工学実験ⅠA	1.5				1.5		
	工学実験ⅠB	1.5				1.5		
	工学実験ⅡA	1.5					1.5	
	工学実験ⅡB	1.5					1.5	
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小 計	60	5	7	14	17	17	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	工業力学	1			1			
	機構学	1			1			
	基礎材料科学	1			1			
	計測基礎	1			1			
	電気工学概論	1			1			
	材料・加工学	1				1		
	計測工学	1				1		
	自動制御	2				2		
	電子工学	2				2		
	電気機器	1				1		
	解析学A	1				1		
	解析学B	1				1		
	応用物理C	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	インターンシップ	1				1		
	材料強度学	1					1	
	流体工学	1					1	
	エネルギー変換工学	1					1	
	化学工学概論	1					1	
	有機・無機材料	1					1	
	生産工学	1					1	
	システム工学概論	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	ロボット工学	1					1	
	生体機械工学	1					1	
	知能機械工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	長期インターンシップB							17単位から卒業研究単位（専門科目）を引いた単位
	小 計	33以上	1以上	1以上	7以上	15以上	15以上	
開設単位数計		93以上	6以上	8以上	21以上	32以上	32以上	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（工学） 佐 藤 一 志	設計製図、材料力学、テクニカルライティング、計測工学、総合セミナー、工学実験、校外実習、卒業研究、専攻研究、専攻実験、固体の力学
教授 博士（工学） 松 谷 保	工業倫理、設計製図、流体力学、流体工学、機械工学概論、総合セミナー、工学実験、校外実習、卒業研究
教授 大 久 忠 義	機械工作法Ⅰ・Ⅱ、機械工作法、工作実習Ⅰ・Ⅱ、工作実習、設計製図Ⅱ、設計製図、総合セミナー、工学実験、卒業研究
教授 博士（工学） 伊 藤 昌 彦	自動制御、メカトロニクス、電子工学、システム工学、総合セミナー、工学実験、卒業研究、専攻研究、システム制御工学
准教授 博士（工学） 石 川 信 幸	工業力学、熱力学、設計製図、エネルギー変換工学、熱機関、総合セミナー、工学実験、卒業研究、専攻実験、伝熱論、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（情報科学） 北 島 宏 之 ※	プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造、コンパイラ、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、情報工学特論、専攻研究、専攻実験
准教授 博士（工学） 濱 西 伸 治	生体工学、設計製図、機械力学、総合セミナー、工学実験、卒業研究、専攻研究、専攻実験
助教 博士（理学） 永 弘 進一郎	工業数学、情報処理、設計製図、創造実習、総合セミナー、工学実験、卒業研究、流れ学、専攻研究、専攻実験
助教 博士（工学） 高 橋 学	設計製図Ⅰ、機械工作法Ⅰ・Ⅱ、機械工作法、計測工学、工作実習Ⅰ、工作実習、情報ネットワーク、総合セミナー、工学実験、卒業研究

※ 現行カリキュラムで情報デザイン学科担当

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

電気システム工学科

未来に向けて人々の生活を生き生きとしたものにするためには、互いのコミュニケーションを円滑にする技術やエネルギーを安定的に供給する技術、さらには福祉に係わる技術など、生活の質の向上につながる電気の様々な技術の発展が必要です。電気システム工学科では、講義と演習と実験を有機的に結びつけて構成した教育プログラムのもと、基礎から応用への幅広い知識と技術を確実に身に付けた、真に総合的に人々の生活を豊かにする技術者の育成を目指しています。



電力工学実験室



電気工学実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気工学基礎	2	2					
	電気工学基礎実験	1	1					
	創造実習	1		1				
	電気工学実験Ⅰ	1	1					
	電気工学実験Ⅱ	2		2				
	電気工学実験Ⅲ	3			3			
	電気工学実験Ⅳ	4				4		
	電気工学実験Ⅴ	4					4	
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅳ	1				1		
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	電磁気学Ⅱ	1				1		
	電磁気学Ⅲ	1				1		
	情報処理基礎	1	1					
	プログラミングⅠ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気機器Ⅰ	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅱ	1				1		
	製図	2			2			
	解析学Ⅰ	1				1		
	解析学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1			1			
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小 計	56	5	7	14	14	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	数値計算法	1			1			
	電子回路	2			2			
	ディジタル回路	2			2			
	電気機器Ⅱ	1				1		
	電気計測Ⅱ	1				1		
	計算機工学	1				1		
	応用情報工学	1				1		
	通信工学Ⅰ	1				1		
	通信工学Ⅱ	1					1	
	通信工学Ⅲ	1					1	
	電子物性	1				1		
	インターンシップ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	電気電子材料	2				2		
	電力工学	2				2		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1					1	
	電気機器Ⅲ	1					1	
	システム工学基礎	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	機械工学概論	2					2	
	ディジタル信号処理	1					1	
	電気法規施設管理	1					1	
	半導体工学	2					2	
	特別講義	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	長期インターンシップB							17単位から卒業研究単位（専門科目）を引いた単位
	小 計	38以上	1以上	1以上	7以上	18以上	17以上	
開設単位数計		94以上	6以上	8以上	21以上	32以上	33以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 工学博士 櫻庭 弘	科学技術史B、電子工学、電気工学実験、電子回路、半導体工学、総合セミナー、卒業研究、電気工学特別演習、専攻研究、ナノエレクトロニクス
教授 工学博士 佐々木 典彦	応用物理、電気工学実験、電磁気学、電気工学演習、真空電子工学、テクニカルライティング、電気法規施設管理、総合セミナー、校外実習、卒業研究、電気工学特別演習
准教授 工学修士 野角 光治	電気工学基礎実験、電気工学実験、情報処理基礎、電磁気学、ディジタル回路、テクニカルライティング、通信工学、総合セミナー、校外実習、卒業研究、電気工学特別演習
准教授 工学博士 佐藤 隆	電気工学実験、電気回路Ⅰ・Ⅱ、情報処理、創造実習、電気工学演習、計算機工学、総合セミナー、卒業研究
准教授 工学博士 古瀬 則夫	電気計測、電気工学演習、電気工学実験、ディジタル信号処理、創造実習、総合セミナー、卒業研究、電気工学特別演習、専攻研究、創造工学演習、専攻実験、応用電子計測

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 工学博士 山田 洋	電気工学基礎、電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅱ、電気工学実験、電気工学演習、電気機器Ⅰ、電気電子材料、電力工学、総合セミナー、卒業研究、電気工学特別演習、基礎電気
助教 工学博士 佐藤 拓	電気回路Ⅰ、プログラミングⅠ、電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅱ、電気工学実験、創造実習、応用物理、総合セミナー、卒業研究、電気工学特別演習、専攻実験、専攻研究
助教 工学博士 矢入 聡	情報ネットワーク、情報数学Ⅰ、システム工学、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、専攻研究、創造工学演習、データ解析学、専攻実験、情報デザイン工学

※ 現行カリキュラムで情報デザイン学科担当

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

マテリアル環境工学科

環境と調和した循環型社会の実現には、すべての製品のもとであるマテリアルの高性能化とマテリアルの環境リスク低減が強く望まれています。マテリアル環境工学科では、金属、無機、有機などマテリアルの幅広い専門知識と作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念と環境分析について、授業と実験がリンクした総合的な教育を実施します。研究活動やディスカッションを通して創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル総合エンジニアを育成します。



X線解析装置を用いた物質の構造解析実験



マテリアル工学実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	マテリアル環境工学入門	1	1					
	マテリアル工作実習	1	1					
	マテリアル基礎化学	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1	1					
	情報処理Ⅰ	1	1					
	物質の構造	1		1				
	地球環境科学	1		1				
	マテリアル基礎実験	3		3				
	創造実習	1		1				
	情報処理Ⅱ	1		1				
	材料組織学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料物性Ⅰ	2			2			
	基礎電気Ⅱ	1			1			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	有機化学Ⅰ	1			1			
	マテリアル工学実験Ⅰ	3			3			
	設計製図	3			3			
	材料組織学Ⅱ	2				2		
	材料物性Ⅱ	2				2		
	機器分析	2				2		
	マテリアル工学実験Ⅱ	3				3		
	環境分析実験	2				2		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小 計	54	5	7	16	14	12	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報処理Ⅲ	2			2			
	マテリアル環境演習	1			1			
	材料力学Ⅱ	2				2		
	材料強度学	2				2		
	構成材料Ⅰ	2				2		
	電磁気学	2				2		
	物理化学Ⅱ	2				2		
	有機化学Ⅱ	2				2		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	解析学	2				2		
	インターンシップ	1				1～2		
	加工プロセス工学	2					2	
	構成材料Ⅱ	2					2	
	機能材料	2					2	
	セラミックス材料	2					2	
	化学プロセス工学	2					2	
	有機材料	2					2	
	電気化学	2					2	
	制御工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	長期インターンシップB							17単位から卒業研究単位（専門科目）を引いた単位
	小 計	39以上	1以上	1以上	5以上	19以上	19以上	
開設単位数計		93以上	6以上	8以上	21以上	33以上	31以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（工学） 佐藤 友章	物理化学Ⅱ、セラミックス材料、材料工学実験Ⅲ、材料分析実験、マテリアル環境工学入門、総合科目A・B（環境ビジネスコンテスト・教材コンテスト）、総合セミナー、テクニカルライティング、卒業研究、材料セミナー、物質評価学、専攻研究
教授 理学博士 鈴木 吉朗	基礎電気Ⅰ、電子物性Ⅰ、機能材料Ⅰ、マテリアル基礎実験、材料工学実験Ⅲ、材料分析実験、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、電子機能デバイス、専攻研究
教授 博士（工学） 渡邊 陽一	材料組織学Ⅲ、構成材料Ⅰ・Ⅱ、材料工学実験Ⅱ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、創造工学演習、技術者倫理、インターンシップ、エンジニアリング実習、専攻実験、専攻研究
准教授 修士（工学） 熊谷 晃一	情報処理Ⅱ、電気回路、電子回路、電子工学、ディジタル回路、マテリアル基礎実験、校外実習、電気電子工学実験Ⅱ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、専攻研究
准教授 博士（工学） 北川 明生	情報処理Ⅱ、物理化学Ⅰ、工業化学Ⅱ、計測・制御工学、マテリアル工作実習、マテリアル基礎実験、材料工学実験Ⅱ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、シミュレーション工学、物質化学、専攻研究
准教授 博士（工学） 浅田 格	電子物性Ⅱ、機能材料Ⅱ、マテリアル基礎実験、材料工学実験Ⅱ、マテリアル環境工学入門、総合科目A・B（環境ビジネスコンテスト・教材コンテスト）、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、組織制御学、専攻実験、専攻研究

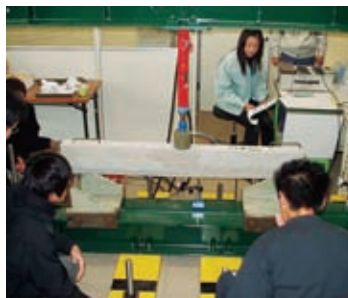
職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（工学） 武田 光博	物質の構造、情報処理Ⅱ、材料組織学Ⅱ、材料工学演習、結晶解析学、材料分析実験、設計製図Ⅱ、電気電子工学実験Ⅱ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、専攻研究、材料システム学
准教授 博士（工学） 熊谷 進	情報処理Ⅰ、工業力学、材料力学、複合材料、マテリアル基礎実験、創造実習、材料工学実験Ⅲ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、応用材料加工学、専攻研究
助教 博士（理学） 関戸 大	創造実習、情報ネットワーク、工業化学Ⅰ、材料化学Ⅰ・Ⅱ、マテリアル基礎実験、材料分析実験、マテリアル環境工学入門、材料概論、総合科目A・B（環境ビジネスコンテスト・教材コンテスト）、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、環境化学概論、物質化学、専攻研究
助教 博士（工学） 伊東 航	マテリアル基礎化学、材料工学実験Ⅱ・Ⅲ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、専攻実験、専攻研究

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

建築デザイン学科

人類は様々な建築をデザインし、創ってきました。これから我々は持続可能な社会と環境を継承して行かなければなりません。

建築デザイン学科では、低学年から基礎的科目を学び、段階的に設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する基礎知識と基礎技術を身に付けた学生を育てます。さらに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、デザインの基礎的素養を身に付け、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的技術者を育成します。



建築構造・材料実験



3年次学科研修

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報処理A	1	1					
	建築設計製図Ⅰ	2	2					
	空間デザイン概論	2	2					
	創造実習	1		1				
	情報処理B	1		1				
	建築設計製図Ⅱ	4		4				
	建築構造概論	1		1				
	造形	1			1			
	日本建築史	1			1			
	西洋建築史	1			1			
	建築設計製図Ⅲ	6			6			
	住環境計画	1			1			
	人間工学	2			2			
	建築環境工学Ⅰ	2			2			
	建築材料Ⅰ	1			1			
	建築構造力学Ⅰ	2			2			
	建築設計製図Ⅳ	4				4		
	公共施設計画	2				2		
	設備工学Ⅰ	1				1		
	建築構造力学Ⅱ	3				3		
	建築構造学Ⅰ	2				2		
	建築実験実習	4				4		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	建築設計製図Ⅴ	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小 計	62	5	7	17	19	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用物理	2			2			
	建築数理	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	CAD・CG演習	2				2		
	都市計画	2				2		
	建築環境工学Ⅱ	1				1		
	建築材料Ⅱ	2				2		
	インターンシップ	1				1		
	経営工学	1					1	
	デザイン概論	1					1	
	感性工学	2					2	
	設備工学Ⅱ	2					2	
	環境工学	1					1	
	建築構造力学Ⅲ	2					2	
	建築構造学Ⅱ	4					4	
	建築施工	2					2	
	建築法規	1					1	
	測量	2					2	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	長期インターンシップB							17単位から卒業研究単位（専門科目）を引いた単位
	小 計	33以上	1以上	1以上	4以上	13以上	20以上	
開設単位数計		95以上	6以上	8以上	21以上	32以上	34以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（工学） 飯 藤 将 之	情報処理A・B、建築設計製図Ⅰ・Ⅲ、建築実験実習、総合セミナー、校外実習、建築構造力学Ⅳ、卒業研究、専攻研究、専攻実験、構造力学
准教授 笠 松 富二夫	建築構造概論、建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習、総合セミナー、建築学特別研修Ⅲ、卒業研究、専攻実験
准教授 修士（造形） 永 山 広 樹 ※	空間デザイン概論、デザイン演習Ⅰ・Ⅱ、デザイン概論、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、特別講義
准教授 博士（工学） 小 林 仁	工業倫理、建築総合演習Ⅰ、建築環境工学Ⅱ、建築数理、創造実習、総合セミナー、卒業研究、専攻研究、創造工学演習、環境物理
准教授 博士（工学） 李 晚 在	建築学特別研修Ⅱ、建築構造学Ⅰ・Ⅱ、建築構造力学Ⅲ、建築実験実習、鉄骨構造、建築構造演習、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、構造デザイン、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（文学） 伊 師 華 江 ※	情報処理A、感性工学、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、特別講義、専攻研究、感性デザイン
助教 修士（工学） 熊 谷 広 子	空間デザイン概論、建築設計製図Ⅱ、日本建築史、西洋建築史、建築計画B、総合セミナー、卒業研究
助教 博士（芸術工学） 酒 井 聡 ※	空間デザイン概論、CG演習、デザイン演習Ⅰ、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、特別講義
助教 博士（工学） 藤 田 智 己	建築設計製図Ⅰ、情報処理B、建築構造力学Ⅱ・Ⅳ、建築実験実習、情報ネットワーク、総合セミナー、卒業研究、専攻研究
助教 博士（工学） 権 代 由 範	建築設計製図Ⅰ、建築材料学Ⅰ・Ⅱ、建築学特別研修Ⅰ、建築実験実習、測量、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、材料設計法、特別研究

※ 現行カリキュラムで情報デザイン学科担当

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

知能エレクトロニクス工学科

エレクトロニクス技術を駆使した様々な機器・システムの智能化を通して、地球の環境保全、人類の福祉や安全な社会の実現が求められています。その土台となる新しいエレクトロニクス機器・デバイスやその応用技術の開発ができる創造的な技術者を養成する学科です。電子回路のようなエレクトロニクス技術の基礎から、マイクロコンピュータ技術やソフトウェア技術、さらには様々な電子デバイス・材料からレーザやロボティクスといった応用技術まで、実験・実習を重視して幅広く学修できることが特徴です。



創造工学実習
(マイコンによる機器制御の実験)



半導体の卒業研究

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	2	2					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	デジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	電磁気学基礎	1			1			
	プログラミング応用Ⅰ	2			2			
	電子機器基礎	2			2			
	電子計測	1			1			
	知能エレクトロニクス基礎実験	3			3			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁気学A	1				1		
	電磁気学B	1				1		
	電子回路A	1				1		
	電子回路B	1				1		
	プログラミング応用Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	2				2		
	回路工学	1				1		
	応用物理Ⅱ	2					2	
	知能エレクトロニクス製作	2				2		
	知能エレクトロニクス実験Ⅰ	3				3		
	知能エレクトロニクス実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小 計	60	4	8	19	17	12	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電子デバイスⅠ	1				1		
	電子デバイスⅡ	1				1		
	電子物性基礎	2				2		
	制御工学	1				1		
	マイクロコンピュータⅠ	1				1		
	マイクロコンピュータⅡ	1				1		
	電子機器設計基礎	2				2		
	知能エレクトロニクス演習	1				1		
	機構学	2				2		
	インターンシップ	1				1		
	光工学	2					2	
	集積回路基礎	2					2	
	応用電子回路	2					2	
	レーザ工学	2					2	
	超高周波工学	2					2	
	コンピュータシステム	2					2	
	ロボティクス	2					2	
	電子機器	1					1	
	生産管理工学	2					2	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	32以上	1以上	1以上	2以上	15以上	19以上	
開設単位数計		92以上	5以上	9以上	21以上	32以上	31以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 工学博士 馬 場 一 隆	電気回路基礎、電気回路信号とシステム、情報通信工学実験A・B・C、プロジェクト実習、情報通信セミナーB、創造工学、卒業研究、インターンシップ、波動伝送工学、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授 理学博士 小野寺 重 文	電磁気学、電子工学演習、応用物理Ⅰ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、電子工学実験Ⅱ、卒業研究
教授 工学博士 大 泉 哲 哉	ディジタルエンジニアリング基礎、機構学Ⅰ・Ⅱ、輪講Ⅰ・Ⅱ、数値制御工学、制御工学実験A・B、機械ロボット工学Ⅰ・Ⅱ、論文講読Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験、創造工学、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授 Ph.D 藤 木 なほみ	電磁気学基礎、プログラミング基礎、コンピュータリテラシ、電磁気学、情報通信工学実験B・C、情報通信セミナーB、創造工学、卒業研究、情報数学特論、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士(工学) 那 須 潜 思	電気回路、電子回路、マイクロコンピュータⅠ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、電子工学実験Ⅱ、創造工学、プロジェクト実習、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 修士(工学) 與那嶺 尚 弘	マイクロコンピュータ基礎、プログラミング、電子工学演習、マイクロコンピュータⅠ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、プロジェクト実習、電子工学実験Ⅱ、創造工学、卒業研究、計算機アーキテクチャ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士(学術) 園 田 潤	コンピュータリテラシ、プログラミング基礎、プログラミング、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、数値計算、技術英語、創造工学、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士(工学) 川 崎 浩 司	プロジェクト実習、情報通信工学実験、電子回路、情報通信工学実験A・B・C、情報通信セミナーA・B、創造工学、卒業研究
准教授 博士(工学) 末 永 貴 俊	ディジタル回路、電子計算機、コンピュータ制御・実験、輪講Ⅰ・Ⅱ、論文講読Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験B、制御工学実験、創造工学、プロジェクト実習、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究、制御工学
助教 博士(工学) 關 成 之	基礎電子工学演習、ディジタル技術基礎、電気回路、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、創造工学、卒業研究、電子デバイス、技術英語、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
助教 博士(工学) 佐久間 実 緒	電磁気学基礎、マイクロコンピュータ基礎、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、応用数学B、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、創造工学、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

情報システム工学科

ソフトウェアを中心とした情報システムの基礎から応用まで、総合的な知識と技術を備えた人材の育成を目指しています。コンピュータの仕組み、プログラミング、Web、インターネットなど、世界で活躍できるシステムエンジニアに必要な技術について体系的に学ぶことができます。

情報処理技術者試験、ネットワーク技術者認定など、情報系技術者にとって重要な資格の取得も目標とします。



創造工学実習



マイクロコンピュータ基礎

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	2	2					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	デジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	プログラミング	3			3			
	コンピュータシステム基礎	2			2			
	データ工学基礎	1			1			
	情報システム基礎実験	3			3			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁気学A	1				1		
	電磁気学B	1				1		
	電子回路A	1				1		
	電子回路B	1				1		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	応用プログラミングⅠ	1				1		
	応用プログラミングⅡ	1				1		
	デジタルシステムA	1				1		
	デジタルシステムB	1				1		
	ネットワーキングⅠ	3				3		
	ネットワーキングⅡ	3				3		
	情報システム実験Ⅰ	3				3		
	情報システム実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小 計	64	4	8	19	23	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システム演習Ⅰ	1				1		
	情報システム演習Ⅱ	1				1		
	情報数学	1				1		
	データ工学	1				1		
	ソフトウェア分析設計	1				1		
	インターンシップ	1				1		
	情報セキュリティ	1					1	
	ネットワーキングⅢ	3					3	
	ネットワーキングⅣ	3					3	
	組込みシステム	1					1	
	デジタル制御	1					1	
	数値計算	1					1	
	知識工学基礎	1					1	
	コンピュータアーキテクチャ	1					1	
	オペレーティングシステム	2					2	
	福祉工学	2					2	
	情報システム概論	2					2	
	情報社会学	2					2	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	28以上	1以上	1以上	2以上	8以上	22以上	
開設単位数計		92以上	5以上	9以上	21以上	31以上	32以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（情報科学） 竹 島 久 志	コンピュータリテラシ、創造工学、デジタル技術、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授 理学博士 海 野 啓 明	コンピュータリテラシ、創造工学、電磁気・電気回路演習、輪講Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験A・B、論文講読Ⅰ・Ⅱ、応用数学B、制御工学特論、情報数学特論、制御工学実験、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究、応用電子回路Ⅰ・Ⅱ
教授 博士（工学） 高 橋 薫	創造工学、電気回路基礎、プロジェクト実習、プログラミング、ソフトウェア工学、情報通信工学実験A・B・C、卒業研究、工業数学Ⅱ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究、情報通信セミナーB
教授 博士（工学） 熊 谷 和 志	創造工学、プロジェクト実習、機械工学Ⅰ・Ⅱ、輪講Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験A・B、電力変換工学Ⅰ・Ⅱ、論文講読Ⅰ・Ⅱ、数値制御工学、制御工学実験、卒業研究
特任教授 理学博士 野 田 泰 久	創造工学、応用数学A・B、マイクロコンピュータ、情報通信工学実験、情報通信工学実験A・B・C、情報通信セミナーA・B、卒業研究
准教授 修士（情報科学） 菅 野 浩 徳	創造工学、プロジェクト実習、情報通信基礎演習、情報通信工学実験、情報通信、情報通信工学実験A・B・C、情報ネットワーク理論、情報通信セミナーB、卒業研究、ネットワーク基礎論Ⅱ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（情報科学） 安 藤 敏 彦	創造工学、プロジェクト実習、プログラミング基礎Ⅱ、電子回路、電気電子工学実験、ネットワークシステム、情報工学実験A・B、卒業研究、知識工学、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士（情報科学） 早 川 吉 弘	創造工学、プロジェクト実習、電気回路、基礎電子工学演習、電子工学演習、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、応用電子回路Ⅱ、技術英語、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
助教 博士（情報科学） 力 武 克 彰	創造工学、プロジェクト実習、電気回路、電気電子工学実験、マイクロコンピュータ、デジタルシステム設計、情報工学実験A・B、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究、計算機アーキテクチャ
助教 博士（情報科学） 高 橋 晶 子	創造工学、プログラミング基礎、プロジェクト実習、ネットワークシステム基礎、コンピュータグラフィックス、計算機システム、情報工学実験A・B、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
助教 修士（工学） 小 林 秀 幸	創造工学、デジタル技術基礎、プロジェクト実習、電子回路基礎、マイクロコンピュータ、通信計測、情報通信工学実験A・B・C、情報通信セミナーB、卒業研究

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

情報ネットワーク工学科

インターネット、携帯電話、デジタル放送など、今や情報ネットワークやコミュニケーションシステムは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報ネットワーク工学科では、電気通信の基礎からインターネットワーキング、ネットワークを利用した情報システムまでをバランスよく系統的かつ実践的に教授することで、情報化社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。



創造工学実習(ネットワーク地図の作成)



ネットワーク構築実験

教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	2	2					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	応用数学A	2			2			
	電気回路	2			2			
	デジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	電磁気学	2			2			
	プログラミング	3			3			
	ネットワークシステム基礎	1			1			
	ネットワーキング基礎	3			3			
	応用数学B	2				2		
	応用数学C	2				2		
	電磁波工学Ⅰ	2				2		
	電子回路A	1				1		
	情報セキュリティ基礎	1				1		
	ネットワークプログラミングⅠ	1				1		
	ネットワーキング技術Ⅰ	2				2		
	ネットワーキング技術Ⅱ	2				2		
	情報ネットワーク実験Ⅰ	3				3		
	情報ネットワーク実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小 計	57	4	8	19	16	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	電子回路B	1				1		
	電子回路C	1				1		
	組込みシステム	1				1		
	情報理論	1				1		
	ネットワーク理論	2				2		
	マルチメディア情報	1				1		
	データ管理技術	1				1		
	ネットワークプログラミングII	1				1		
	インターシップ	1				1		
	レーザ工学	1					1	
	光通信システム	2					2	
	電磁波工学II	2				2		
	電磁波工学III	2					2	
	無線通信システム	2					2	
	通信計測	2					2	
	コミュニケーションシステム	2					2	
	通信法規	1					1	
	情報セキュリティ	1					1	
	情報社会学	2					2	
	分散コンピューティングI	1					1	
	分散コンピューティングII	1					1	
	ネットワークシステム開発	2					2	
	コンピュータシステム	1					1	
	ネットワークアーキテクチャ	1					1	
	総合科目B	1以上			1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	35以上	1以上	1以上	2以上	14以上	23以上	
開設単位数計		92以上	5以上	9以上	21以上	30以上	33以上	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 工学修士 脇山 俊一郎	ネットワークシステム、情報工学実験A・B、創造工学、卒業研究、ネットワーク基礎論I、インターネットアーキテクチャ、専攻実験・演習II、専攻研究、計算機システム、プロジェクト実習
教授 工学博士 佐藤 公男	創造工学、デジタル技術基礎、プロジェクト実習、電気電子工学実験、集積回路工学基礎、情報工学実験A・B、ネットワーク工学、卒業研究、信頼性工学、専攻実験・演習II、専攻研究
教授 工学博士 鈴木 哲	電磁波工学I・II・III、情報通信工学実験A・B・C、マイクロ波レーザ工学、情報通信セミナーB、創造工学、卒業研究、電気回路基礎、専攻実験・演習II、専攻研究、プロジェクト実習
准教授 修士(学術) 増田 幸次	論理回路設計、マイクロコンピュータ、マイクロコンピュータ周辺技術、情報工学実験A・B、創造工学、卒業研究、専攻研究、プロジェクト実習
准教授 博士(工学) 袁 巧 微	微分・積分II、数学、創造工学、プロジェクト実習
准教授 博士(工学) 矢島 邦昭	コンピュータリテラシ、情報処理、輪講I・II、計測・情報処理、制御工学実験A・B、論文講読I・II、制御工学特論、制御工学実験、創造工学、卒業研究、画像処理理論、専攻実験・演習II、専攻研究、プロジェクト実習

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(情報科学) 平塚 眞彦	デジタル技術基礎、情報通信工学実験、情報通信演習、情報通信工学実験B・C、信号とシステム、情報通信セミナーA・B、デジタル信号処理、創造工学、卒業研究、デジタル技術基礎、プロジェクト実習
准教授 博士(工学) 岩井 克全	情報通信基礎演習、電気計測、コンピュータリテラシ、情報通信工学実験、情報通信工学実験A・B・C、光通信システム、情報通信セミナーA・B、創造工学、卒業研究、電気回路基礎、プロジェクト実習
特任准教授 薬科 秀男	デジタル技術、マイクロコンピュータ基礎、通信法規、情報通信工学実験B・C、無線通信システム、情報通信セミナーB、卒業研究、情報通信工学実験、プロジェクト実習
助教 修士(工学) 今井 裕司	創造工学、プロジェクト実習、デジタル技術基礎、コンピュータ制御・実験、応用電子回路I・II、輪講I・II、論文講読I・II、数値制御工学、制御工学実験B、卒業研究、制御工学実験
助教 博士(情報科学) 藤原 和彦	データ管理と操作、マルチメディア処理、情報工学実験A・B、数値計算、創造工学、卒業研究、ソフトウェア工学I、専攻実験・演習II、専攻研究、プログラミング基礎、プロジェクト実習
助教 博士(工学) 大場 譲	創造工学、プログラミング基礎、プロジェクト実習、電気回路、デジタル回路、電磁気・電気回路演習、制御理論、制御工学実験A・B、制御工学、制御工学実験、卒業研究、専攻実験演習II、専攻研究

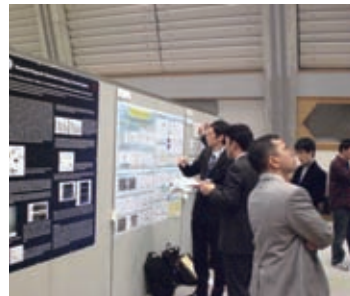
本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

生産システムデザイン工学専攻

準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶとともに、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身に付けます。さらに、産業界や地域社会、海外の教育機関と連携した体験的実務学習により、身に付けた工学的素養を知恵にまで深めます。こうして、将来ものづくり分野を革新させる知恵と複眼的視野と複合領域への対応技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる資質を養成します。



専攻科学生研究室



国際会議での発表

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語Ⅰ	2	2		
	英語Ⅱ	2		2	
	小計	4	2	2	
選択科目	日本の言葉と文学	2	2		
	歴史と文化	2	2		
	健康と科学	2	2		
	線形代数学	2	2		
	確率統計概論	2	2		
	小計	10	10	0	
開設単位数計		14	12	2	8単位以上修得すること。



専攻科棟

■教育課程【専門科目】
生産システム工学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	専攻研究	14	6	8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	29	19	10	
選択科目	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	弾塑性力学	2		2	
	生体工学	2		2	
	組織制御学	2	2		
	ナノテクノロジー	2		2	
	固体の力学	2	2		
	材料システム学	2	2		
	物質化学	2		2	
	流れ学	2	2		
	伝熱論	2	2		
	システム制御工学	2		2	
	固体物性工学	2	2		
	物質評価学	2		2	
	電子機能デバイス	2		2	
	応用材料加工学	2		2	
	送配電工学	2	2		
	プラズマ応用工学	2		2	
	応用電子計測	2		2	
	インターンシップ	4～8	4～8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小 計	50～54	26～30	24	
開設単位数計		79～83	45～49	34	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

建築デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	専攻研究	14	6	8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	29	19	10	
選択科目	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	建築設計製図	2	2		
	地域・都市計画	2	2		
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	環境物理	2	2		
	構造動力学	2	2		
	材料設計法	2	2		
	建築史特論	2		2	
	施設計画論	2		2	
	色彩工学	2		2	
	測色計算実習	2		2	
	環境システムシミュレーション	2		2	
	構造デザイン	2		2	
	建築生産	2		2	
	インターンシップ	4～8	4～8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小 計	44～48	26～30	18	
開設単位数計		73～77	45～49	28	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。



音響実験

情報デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	専攻研究	14	6	8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	29	19	10	
選択科目	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	情報デザイン工学	2	2		
	情報工学特論	2		2	
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2		2	
	オペレーティングシステム	2		2	
	色彩工学	2	2		
	測色計算実習	2		2	
	インターンシップ	4～8	4～8		
	エンジニアリング実習	4	4		
	小 計	36～40	22～26	14	
開設単位数計		65～69	41～45	14	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 工学博士 遠 藤 昇	専攻研究、専攻実験、情報ネットワーク特論、オペレーティングシステム、情報ネットワーク、コンピュータアーキテクチャ、デジタル通信工学、オペレーティングシステム概論、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、インターンシップ、エンジニアリング演習、工業倫理
教授 工学博士 丹 野 顯	専攻研究、弾塑性力学、数値計算法、工学実験、総合セミナー、卒業研究
教授 理学博士 鈴木 勝彦	専攻実験、固体物性工学、物理Ⅰ・Ⅱ、創造実習、総合セミナー、応用物理、材料セミナー、卒業研究
教授 文学修士 飯 田 清 志	英語Ⅰ・Ⅱ、外国語A、英語ⅡA
教授 博士（工学） 本 郷 哲	創造工学演習、インターンシップ、エンジニアリング演習、専攻研究、専攻実験、応用信号処理論、画像処理工学、コンピュータグラフィックス、デジタル信号処理、デジタル信号処理演習、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、校外実習、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、特別講義

職名・学位／氏名	担当科目
特任教授 工学博士 柴 田 公 博	材料加工学、セラミックス材料、工業倫理、マテリアル基礎実験、材料工学実験Ⅲ、マテリアル環境工学入門、総合セミナー、テクニカルライティング、材料セミナー、卒業研究、応用材料加工学、専攻実験、専攻研究
嘱託教授 工学博士 本 間 敏 行	建築計画A、公共施設計画Ⅰ・Ⅱ、建築総合演習Ⅱ、卒業研究補助
准教授 工学博士 中 村 富 雄	専攻実験、システム制御工学、応用数学、数学演習、工業倫理、情報処理、制御工学、電気工学実験、総合セミナー、卒業研究
准教授 博士（工学） 大 町 方 子	画像処理、人工知能、情報ネットワーク
准教授 博士（医学） 穴 戸 隆 之	健康と科学、保健体育
准教授 博士（工学） 坂 口 大 洋	建築設計製図、施設計画論、専攻研究、情報処理A、建築設計製図Ⅲ・Ⅳ、テクニカルライティング、総合セミナー、卒業研究

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

情報電子システム工学専攻

最先端の情報電子社会を支える技術者には、社会の問題を国際的視野で考察し、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力が求められます。情報電子システム工学専攻では、企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と強力に連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報・電子及び関連分野の高度な専門知識、さらには実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。



海外からの研修生と



企業講師による実践的PBL授業

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語演習Ⅰ	2	2		
	英語演習Ⅱ	2		2	
	小 計	4	2	2	
選択科目	線形代数学	2	2		2単位以上修得すること。
	思想史	2	2		
	科学史	2	2		
	物理化学	2	2		
	バイオテクノロジー	2	2		
	企業社会学	2		2	
	国際文化特論	1	1		
	小 計	13	11	2	
開設単位数計		17	13	4	10単位以上修得すること。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻実験・演習Ⅰ	4	4		
	専攻実験・演習Ⅱ	4		4	
	専攻研究	10	5	5	
	小 計	18	9	9	

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
選択科目	専攻特別講義Ⅰ	1	1		
	専攻特別講義Ⅱ	1		1	
	工業数学Ⅰ	2	2		
	工業数学Ⅱ	2	2		
	応用数学特論	2	2		
	情報数学特論	2		2	
	データ解析	2	2		
	ディジタル信号処理	2	2		
	物質の構造と性質	2		2	
	エネルギー変換論	2	2		
	電子回路設計	2	2		
	パワーエレクトロニクス	2	2		
	波動伝送工学	2	2		
	信頼性工学	2		2	
	計測制御システム	2		2	
	デバイス工学	2		2	
	ネットワーク基礎論Ⅰ	2	2		
	ネットワーク基礎論Ⅱ	2	2		
	計算機アーキテクチャ	2	2		2単位以上修得すること。
	ソフトウェア工学Ⅰ	2	2		
	ソフトウェア工学Ⅱ	2		2	
	アルゴリズムとデータ構造	2		2	
	知識工学	2		2	
	認識工学	2		2	
	画像処理論	2	2		
	インターネットアーキテクチャ	2		2	
	ネットワーク工学	2	2		
	科学技術特論	1	1		
	インターンシップ	3～6	3～6		
	小 計	56～59	35～38	21	
開設単位数計		74～77	44～47	30	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目10単位以上、専門科目52単位以上を修得する。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 理学博士 竹 茂 求	インターンシップ、科学史、工業数学Ⅰ、専攻実験・演習Ⅱ、専攻特別講義Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、プロジェクト実習、プログラミング基礎Ⅱ、情報工学実験A・B、卒業研究、プログラミング基礎
教授 工学博士 鈴 木 隆 之	波動伝送工学、専攻実験・演習Ⅱ、電子回路基礎、電子工学実験Ⅰ、創造製作Ⅰ・Ⅱ、レーザ工学、技術英語、卒業研究、専攻研究、応用電子回路Ⅰ、専攻実験・演習Ⅱ
准教授 博士(工学) 速 水 健 一	ネットワーク工学、専攻実験・演習Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造、専攻研究、プログラミング、情報通信演習、情報通信工学実験A・B・C、情報通信セミナーA・B、卒業研究、情報通信基礎演習、プロジェクト実習
准教授 博士(工学) 白 根 崇	科学史、計測制御システム、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、プロジェクト実習、電気磁気学、輪講Ⅰ・Ⅱ、応用数学A、制御工学実験A・B、論文講読Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験、卒業研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(工学) 林 忠 之	電磁気・電気回路演習、エネルギー変換論、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、ディジタル回路、電子回路、コンピュータ制御・実験・輪講Ⅰ・Ⅱ、電子デバイス、計測・情報処理、制御工学実験B、論文講読Ⅰ・Ⅱ、制御工学実験、卒業研究
准教授 博士(工学) 奥 村 俊 昭	科学史、ソフトウェア工学Ⅰ、認識工学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、アルゴリズムの基礎、応用数学B、情報工学実験A・B、信号処理、卒業研究
准教授 博士(工学) 柏 葉 安 宏	科学史、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、ディジタル技術基礎、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、電磁気学、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、卒業研究、デバイス工学
准教授 博士(工学) 松 枝 宏 明	科学史、応用数学特論、エネルギー変換論、専攻実験・演習Ⅱ、専攻特別講義Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、応用数学A

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む

現行学科紹介

平成21年度までの入学生

■名取キャンパス

機械工学科

“物をつくる”ことは人類の歴史が始まって以来、人間が生きてゆくための基礎です。時代の最先端技術であるコンピュータ、半導体、ロボット、自動車、ジェット機、人工衛星などは“物をつくる”技術の大きな進歩によって可能となりました。これらの最先端技術の各分野で多数の機械技術者が設計、開発、製造に活躍しています。

機械工学科では新時代の技術革新にも対応できる基礎力と柔軟な応用力を持った実践的技術者の育成に力を入れています。工業の基礎となる材料力学、熱力学、流体力学、機械力学から、コンピュータを利用した設計や製図等の応用まで、幅広い知識と技術を学べるようにカリキュラムが構成されています。

電気工学科

電気工学は、1.あらゆる資源を電気エネルギーに変換、送受し、2.それを人間が利用し易い別のエネルギー、情報などに変換し、速く確実に大量に交換する方法、装置、回路網、システムを創り、これらを動かすための知恵です。

科目は電気機器、電力工学、情報処理、ディジタル回路、同信号処理、半導体工学、計算機工学、通信工学、真空電子工学、制御工学などがあります。どれも産業の基礎を成し、生活をより豊かにするもので、その実現には創造力が必要です。

そこで、電気工学科では演習、実験と卒業研究（4、5年）を多く取り入れ、計画、実行、考察の科学的方法論を備え、かつ責任感のある実践的技術者の育成をしています。

建築学科

人類は様々な建築を創ってきました。我々は持続可能な社会を継承して行かなければなりません。我々の社会や生活は、常に建築とともにあります。建築には安全性、利便性・快適性、環境保全とともに美しさや経済性も求められています。

建築学科では、低学年から基礎的科目を学び、段階的に設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する知識と技術を身に付けた学生を育てています。さらに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的建築技術者を育成しています。

材料工学科

自然と人類が調和した新しい循環型社会の実現に向けて、全ての製品のもとである「材料」の環境負荷低減が求められています。水素や太陽などのエネルギー利用やバイオ燃料技術には、効率的な利用を可能にする新たな材料開発が必須です。

材料工学科は、基礎となる材料科学を理解し、より高度なそして地球にやさしい材料を設計・開発・製造できる技術者を育成しています。金属やセラミックスの専門科目、化学や物理などの基礎科目とともに、多く観察・分析実験テーマと卒業研究での実践的学習を通して、知識・技能と創造性を兼ね備えた材料エンジニアを育てます。

情報デザイン学科

近年、計算機の普及は目覚しく、物作りや通信の分野でも情報処理機器が広く使われています。

したがって、これらの分野で活躍するためには、各分野の基本知識だけでなく、情報処理機器を使いこなすことと、情報処理機器を利用した表現能力が必要です。

このような背景のもと、情報デザイン学科は、平成5年4月に全国の高等専門学校の中で唯一の学科として本学に設置されました。

情報デザイン学科では、計算機学や造形の基本知識とともに、情報処理機器を利用して適切な情報を最適な表現方法で伝える能力を修得することができます。

■ 広瀬キャンパス

情報通信工学科

今や、21世紀のコミュニケーションは、コンピュータを結ぶだけの従来型のネットワークにとどまらず、移動しながら、いつでも、どこでも、誰とでも情報伝達が可能なユビキタスネットワーク時代に突入し、私たちの生活スタイルを大きく変えようとしています。

情報通信工学科では、このように急速に発展し続けている情報通信技術(IT)に対応できる技術者の育成を目指しています。衛星通信、移動体通信、光通信、通信ネットワークや通信ソフトウェア、通信システムなど幅広い通信技術に適應できる技術者を育てるため、幅広い基礎学力、応用力と実践力、それらに基づく問題解決能力などの教育に主眼を置いています。

電子工学科

エレクトロニクス(電子工学)の進歩は、私たちの生活スタイルから社会の仕組みまでを絶えず変えています。パーソナルコンピュータ、携帯電話、デジタルテレビなどの身近な電化製品から、ロボット、医療機器、通信衛星、環境施設など、社会の様々な分野は今やエレクトロニクスの技術なしでは機能しません。このように現代社会においてますます重要なものとなっているエレクトロニクスとは、物質中の電子や光の動き・性質を利用し、必要性のある機能を有する電子デバイスを創り、電子回路・電子部品・電子機器などを研究開発する学問です。

電子工学科では、将来において先端技術に対応できる技術者となるために必要な幅広い基礎学力、応用・実践力、それらに基づく問題解決能力などの養成に教育の主眼を置き、コンピュータの仕組みと活用技術、電気工学の基礎、電子デバイス、電子回路などを体系的に学ばせて、新しい電子機器を開発できる技術者を育成することを目指しています。

電子制御工学科

最近では、地下鉄駅の改札や銀行のキャッシュ処理機など、社会のいたるところに高度な自動化システムがあります。これらのシステムは、人間を退屈な仕事や危険な仕事から解放してくれるだけでなく、より速く、より正確に仕事を行い、品質の良い製品を作るのにも役立っています。このような自動化システムの普及は、エレクトロニクス技術の進歩と超小型コンピュータの進歩とによるものです。

電子制御工学科では、このコンピュータを用いた自動化システムの設計技術について、基礎から高度なことまでを体系的に学習します。すなわち、コンピュータ・プログラミング、回路設計、モータ利用技術などです。

卒業研究には、コンピュータを用いた研究として、

- (1) 生花・4次元折り紙のCG (2) 宇宙ロボットのアーム (3) マルチメディア応用 があり、またメカトロ研究として、
(4) 電気自動車の試作 (5) 相撲ロボット などがあります。

情報工学科

今日、コンピュータは様々な分野に利用され、高度情報化社会を支えています。

情報工学科では、コンピュータに関する高度な技術者を育成しています。具体的には、(1) コンピュータを設計し組み立てることができるハードウェア技術者、(2) 情報システムを設計・構築できるソフトウェア技術者、(3) 社内ネットワークやインターネットの運用・管理ができるネットワーク技術者です。

学生がコンピュータに関する幅広い知識と技術を十分に身に付けることができるように、実験や実習を中心とした授業を進めています。主な授業内容は、以下のとおりです。

- ・ コンピュータやネットワークを道具として自由に利用できる知識や技能
- ・ 電気、電子回路や論理回路などコンピュータやネットワークを作るための知識や技術
- ・ コンピュータを様々な用途に使うためのプログラムの作成に関する知識や技術
- ・ 画像処理やデータ処理などのために必要な数学や物理などの知識や技術

地域人材開発本部

■地域イノベーションセンター（名取・広瀬キャンパス）

地域イノベーションセンターは、仙台地域の産業界からの期待に応えるために、産学連携、研究支援体制を整備し、研究機関、企業、金融機関等との連携、競争的資金や寄附金等の外部資金の調達、シーズから得られた特許権の取得、学内教員への研究支援と産学連携のコーディネーションを主な事業として推進します。

■CO-OP教育センター（名取キャンパス）

近年、産業界においては、高度なエンジニアリング・デザイン能力を有し、技術の複合化・融合化や総合的な技術革新に携わることができ、将来、国際的に通用する技術者が求められています。本センターは、このような社会的要請に応えるべく、産業界や地域社会と連携してCO-OP教育を推進します。また、これらの活動を通して、CO-OP教育に関する研究を行い、その教育体系を確立することを目指しています。

※CO-OP教育: Cooperative Education, 産学協働教育

※エンジニアリング・デザイン: 基礎科学等の学習成果を集約し、現実的な条件の範囲内で、ニーズに合ったシステム、方法等を開発する創造的なプロセス
(日本技術者教育認定機構HPより抜粋)

■ICT先端開発センター（広瀬キャンパス）

本センターは、ハードウェア、ソフトウェア設計技術者を育成する組込み系デジタルシステム開発部門と、地域のICT企業在籍の社会人あるいは求職者のネットワーキング技術のスキルアップを支援するネットワーキングスキル開発部門及び地域住民へのICT活用・教育支援活動や地域との相互連携によるキャリア開発・教育等を行うICTリエゾン教育部門の3部門により、情報伝達先端技術の開発と地域貢献を目指します。

※ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術)



地域イノベーションセンター（名取キャンパス）



地域イノベーションセンター（広瀬キャンパス）

■教員

地域イノベーションセンター

職名・学位/氏名	担当科目
センター長(兼名取センター長) 教授 工学博士 内 海 康 雄	環境工学、建築設備Ⅲ、総合セミナー、卒業研究、専攻研究、地球環境と都市、安全と省エネルギー、環境システムシミュレーション
広瀬センター長 教授 博士(工学) 羽 賀 浩 一	工業所有権基礎、基礎工学実験、電気計測、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ、量子電子工学、図学・製図、創造製作Ⅰ・Ⅱ、技術英語、卒業研究、材料の解析と加工、専攻実験・演習Ⅰ、専攻研究
名取副センター長 鈴木 勝 彦	(専攻科 教授)
名取副センター長 遠 藤 智 明	(総合科学系理数科 教授)
名取副センター長 武 田 光 博	(マテリアル環境工学科 准教授)
広瀬副センター長 小 松 京 嗣	(総合科学系 教授)
広瀬副センター長 平 塚 眞 彦	(情報ネットワーク工学科 准教授)

CO-OP教育センター

職名・学位/氏名	担当科目
センター長 教授 博士(工学) 櫻 井 宏	応用物理Ⅰ、応用物理Ⅱ、情報数学Ⅱ、情報デザイン実験、総合セミナーA・B、テクニカルライティング、文献講読、卒業研究、情報デザインセミナー、専攻研究、専攻実験
副センター長 小 林 仁	(建築デザイン学科 准教授)

ICT先端開発センター

職名・学位/氏名	担当科目
センター長 准教授 工学修士 菅 谷 純 一	電子計算機、コンピュータ制御・実験、輪講Ⅰ・Ⅱ、応用数学A・B、制御理論、制御工学実験A・B、論文講読Ⅰ・Ⅱ、制御工学、制御工学特論、制御工学実験、卒業研究、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究、創造工学、デジタル技術基礎
副センター長 千 葉 慎 二	(情報ネットワーク工学科 准教授)
副センター長 安 藤 敏 彦	(情報システム工学科 准教授)

本年度の担当科目であり、現行学科の担当科目も含む



サイエンス&テクノロジー研究会



産学官連携フェアへの出展風景

図書館は学習と情報提供の中心的役割を果たしています。工学系専門書や、小説・教養書・各種雑誌が並び、学生によく利用されています。また、蔵書目録の検索はパソコンを活用し、視聴覚資料なども利用できます。相互利用システムを利用して、本校にない資料についても迅速に取り寄せできます。

さらに、本校の教職員・学生のみならず、地域の方々にも開放しています。

■名取キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			分類別比率(%)
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	
総記		3,547	327	3,874	4.24
哲学		3,865	384	4,249	4.66
歴史		5,114	221	5,335	5.84
社会科学		8,146	352	8,498	9.31
自然科学		14,368	2,415	16,783	18.38
工学		25,977	2,499	28,476	31.19
農業		904	18	922	1.01
芸術		5,128	197	5,325	5.83
言語		3,661	1,568	5,229	5.73
文学		11,722	887	12,609	13.81
計		82,432	8,868	91,300	100.00

■平成22年度利用状況

学生	年間利用者	1日平均
貸出者数	3,782人	16.7人
貸出冊数	7,343冊	32.5冊

教職員	年間利用者	1日平均
貸出者数	570人	2.5人
貸出冊数	1,261冊	5.6冊

入館者数	総学生数	開館日数
112,364人 (1日平均497.2人)	1,008人 (年間1人4.5回、7.3冊)	226日 (月平均18.8日)

■広瀬キャンパス図書館 蔵書数

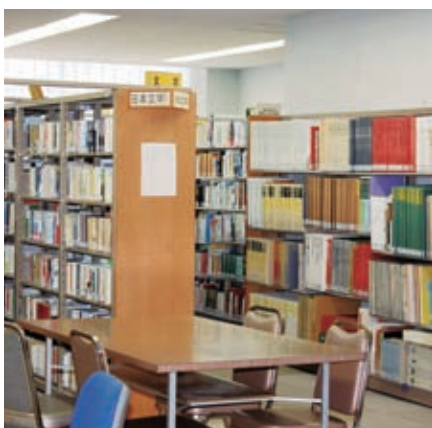
区分	種別	図書冊数			分類別比率(%)
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	
総記		7,231	361	7,592	9.97
哲学		2,324	68	2,392	3.14
歴史		5,080	86	5,166	6.79
社会科学		6,535	89	6,624	8.70
自然科学		14,075	1,958	16,033	21.06
工学		15,376	1,857	17,233	22.64
農業		1,369	42	1,411	1.85
芸術		3,598	63	3,661	4.81
言語		2,763	1,156	3,919	5.15
文学		11,737	348	12,085	15.88
計		70,088	6,028	76,116	100.00

■平成22年度利用状況

学生	年間利用者	1日平均
貸出者数	2,670人	10.9人
貸出冊数	4,046冊	16.5冊

教職員	年間利用者	1日平均
貸出者数	233人	1.0人
貸出冊数	464冊	1.9冊

入館者数	総学生数	開館日数
32,294人 (1日平均131.8人)	857人 (年間1人3.1回、4.7冊)	245日 (月平均20.4日)



開架書庫



閲覧室



新刊雑誌室

電子計算機室 (名取キャンパス)

技術者には情報機器を駆使して問題を解決する能力が要求されています。電子計算機室には最新の高速サーバと情報端末パソコンが整備され、高度情報化社会に対応する情報技術教育、研究に応えられる施設として設置されました。

■情報技術教育用設備

情報技術教育用として演習システムが整備されており、授業以外でも自習室や図書館からキャンパス情報ネットワーク経由で利用することができます。情報端末パソコンは使用目的に応じてLinuxとWindowsから選んで利用することができます。ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション、ペイント、ドローの各ソフトも最新のものがインストールしてあり、情報処理の授業等でこれらの機器・ソフトウェアを利用し、情報交換や情報処理等のコンピュータ技能を高めることができます。また、FortranやC++のプログラム開発環境も導入されており、準学士課程や専攻科課程の研究にも利用されています。

■キャンパス情報ネットワーク

キャンパス情報ネットワークは電子計算機室を中枢としてキャンパス内全域をギガビットイーサネットで結び、東北学術研究インターネットコミュニティ経由でインターネットに接続されています。学生、教職員は各自メールアドレスを持ち、電子メールやWorld Wide Webなどを利用してレポート作成や国内外との情報交換、情報発信、業務連絡に利用しています。電子計算機室には各種サーバ、ネットワーク機器、管理装置が設置されており、学術情報及び世界の情報資源へのアクセスを提供しています。

創造教育センター (名取キャンパス)

鉛筆で描かれた線の中心をはずさないように、くり小刀で丁寧に木を削り、やがて木型ができあがる。木型は砂に込められ、鋳造ができる。誘導溶解炉の炉内で溶解した鉄をとりべに受け、静かに、鋳型に流し込むと鋳物ができる。はるか昔に、人間が獲得した技術を実習することにより、長く深い技術の歴史、人間の英知を知る。

金属で金属を削る。橙色に熱せられた鋼をアンビルの上でたたいて形を変える。溶接棒の先端に発する閃光は、溶接面の向こうで、2枚の鉄片を1枚の板に変える。

機械は不変の材料で作られるのではなく、溶け、変形し、削られる材料で構成されることを学生は学ぶ。

教育と研究のための肥沃な大地、ロボットコンテストのロボットの揺りかご、技術と科学のための工房、仙台高専名取キャンパスの創造教育センターはそのような場所です。

■施設と設備

機械仕上工房

精密旋盤
立てフライス盤
ラム型立てフライス盤
横フライス盤
平面研削盤
万能円筒研削盤
小型ホブ盤
高速帯鋸盤
卓上ボール盤

直立ボール盤
ラジアルボール盤
両頭グラインダ
床面洗浄機

NC加工室

高精度マシニングセンタ
マシニングセンタ
NC旋盤
CAMソフト

鍛造工房

ガス焼き回転加熱炉
エアハンマ
両頭グラインダ
ベルトグラインダ
板金工房
コンターマシン
スケヤシャー
高速砥石切断機
折り曲げ機

三本ロール曲げ機

溶接工房

交流アーク溶接機
ガス溶接機
アルゴンガス溶接機
炭酸ガス溶接機
スポット溶接機
エアプラズマ切断機
ヒュームコレクタ

鋳造工房

高周波誘導溶解炉
定温乾燥機

木型工房

木工帯鋸盤
万能木工機
糸鋸盤
角のみ盤
卓上ボール盤



溶接実習



旋盤実習



鍛造実習



危険予知活動

情報基盤センター (広瀬キャンパス)

情報基盤センターは、広瀬キャンパス内のキャンパスネットワークおよび教育用コンピュータシステムの運用管理、学内の情報基盤に関する技術支援を主な業務としています。

広瀬キャンパス内には千台を超えるコンピュータが設置されており、それらがキャンパスネットワークに接続されています。キャンパスネットワークやインターネットを快適かつ安全・安心して利用できるようにするため、統合認証システム、Webプロキシ、コンテンツフィルタ、アンチウィルス、ファイアウォールなどの装置類を配備し、Webや電子メールのサービスを提供しています。

教育用コンピュータシステムはキャンパス内4か所に分散設置されており、それぞれ50人程度のユーザが同時に利用できる環境となっています。いずれもパソコンをベースとしたシステムですが、2セットはWindowsとLinuxを選択起動できるシステム、1セットはLinux専用システム、もう1セットはWindows専用システムでシングルボードマイコンの実習も可能なシステムとなっています。

創造教育棟 (広瀬キャンパス)

自主性を伸ばし、創造性豊かな人材を育成するための新しい教育システムを推進する目的として創造教育棟を平成15年度に設置しました。本棟では具体的に、

- (1) 学生の自主性を伸ばす「ものづくり」教育の充実
 - ①「発想→調査→設計→製作→評価」の一連の流れの体験
 - ②3次元の広い空間を利用した夢のある研究テーマの具体化
- (2) LSI設計教育の充実
- (3) マルチメディアを活用する教育の強化

等々を推進して行きます。

建物は3階建て、1階は創造教育工房（広くて天井の高い創造空間で、ロボット製作をはじめ、電気自動車、飛行物体など、大型の創造物の製作を行う）、及び創造設計室（製作物の構想、CADによる設計・製図を行う）、及び創造プロジェクト室（プログラムコンテストなどの特定のプロジェクトを遂行したり、グループワークによるコンピュータ実習と工作作業を行う）、及び管理室があります。

2階はコンピュータ演習室（情報処理等の授業、及びインタラクティブ・ラーニング・ラボラトリシステムを利用した自学自習、課題演習やインターネット等の自学自習を行う）、及びLSI設計・評価室（LSI開発・設計の指導、回路設計に関わる技術指導・セミナー等を行う）があります。

3階はITメディア室（遠隔教育や講演会、テレビ会議、研究会等を行う）、及びメディア教材作成室とスタジオ（CDやDVDなどを利用したマルチメディア教材の作成やマルチメディア教育のためのビデオ収録を行う）があります。

また、各階には明るく開放的なリフレッシュスペースがあり、学生の新鮮な創造力の発展に役立っています。



情報基盤センター



創造教育棟

実験実習試作室 (広瀬キャンパス)

実験実習試作室は、電子制御工学科の新設で、本校の教育内容にメカトロニクスも含まれることになり、この分野の教育設備充実を図るために設置されました。

独創的な教育や研究は、教材や実験装置を自作することに始まるといえます。一般工作機械はもとより、3D CAD/CAM、高精度NC工作機械をも備え、ロボコンなどの学生の創造的な試作演習や、精密加工を必要とする教材や実験研究用のユニークな装置の開発・試作に利用されています。

また、メカトロニクスの実践的教育・研究のために、産業用ロボット、CNCワイヤ放電加工機、CNC旋盤、マシニングセンタ、CNC三次元測定機、CNC画像測定機を用い、多目的な実習や研究が行われています。

電子デバイス試作室 (広瀬キャンパス)

電子デバイス試作室は学生が設計したデバイスを実際に作成することを目的としています。そのために新しい電子材料の合成やデバイスを試作するプロセス技術の実習に必要な環境と装置類が準備されています。具体的には、デバイス試作の基本技術である酸化膜成長、フォトリソグラフィ、不純物拡散、光導波路形成、電極形成等の実習、実験を行います。

また学生が設計したLSI回路の製作を大規模集積システム設計教育センターに依頼し、その試作品の測定評価を行うという方法によるLSIデバイスの試作評価にも積極的に取り組んでいます。

主な施設、設備は次のとおりです。

- ・クリーンルーム 面積94.00㎡ (8号棟)
- ・クリーンベンチ、ドラフトチャンバー、マスクアライナー、超純水製造装置、光学顕微鏡、走査型顕微鏡、プローブ顕微鏡、超音波ボンダ、拡散炉、酸化炉、混合ガス流量制御装置、真空蒸着装置、スパッタ蒸着装置、プリント基盤回路作成実習システム、素材表面・界面解析システム



実験実習試作室 オフライン教示システムを備えた溶接ロボット



電子デバイス試作室 素材表面界面解析システム

定員及び現員

平成23年4月1日現在

(単位：人)

■準学士課程

学科	入学 定員	現 員					計
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
機械システム工学科	40	43 (4)	42	—	—	—	85 (4)
電気システム工学科	40	43 (4)	41 (4)	—	—	—	84 (8)
マテリアル環境工学科	40	42 (18)	42 (10)	—	—	—	84 (28)
建築デザイン学科	40	40 (9)	41 (16)	—	—	—	81 (25)
知能エレクトロニクス工学科	40	42 (3)	39 (6)	—	—	—	81 (9)
情報システム工学科	40	42 (5)	41 (8)	—	—	—	83 (13)
情報ネットワーク工学科	40	43 (11)	43 (5)	—	—	—	86 (16)
計	280	295 (54)	289 (49)	—	—	—	584 (103)
機械工学科	40	—	—	42 (1)	44 (2) [1]	38 (2) [1]	124 (5) [2]
電気工学科	40	—	—	43	35 (1)	34 (4)	112 (5)
建築学科	40	—	—	41 (9)	40 (12) [1]	41 (10)	122 (31) [1]
材料工学科	40	—	—	41 (10)	39 (8) [1] <1>	38 (7) [1]	118 (25) [2] <1>
情報デザイン学科	40	—	—	43 (20)	38 (24)	37 (22)	118 (66)
情報通信工学科	40	—	—	39 (4)	43 (9)	40 (7) [1]	122 (20) [1]
電子工学科	40	—	—	44 (3)	44 (4)	39 <1>	127 (7) <1>
電子制御工学科	40	—	—	33 (4)	41 (1) [1]	38 (2) <1>	112 (7) [1] <1>
情報工学科	40	—	—	42 (5)	42 (4) [2]	35 (5)	119 (14) [2]
計	360	—	—	368 (56)	366 (65) [6] <1>	340 (59) [3] <2>	1,074 (180) [9] <3>

() 内は女子学生、[] は男子留学生、< > は女子留学生でいずれも内数である。

■専攻科

学科	入学 定員	現 員	
		第1学年	第2学年
生産システムデザイン工学専攻	40	43 (7)	37 (4)
情報電子システム工学専攻	30	41 (3)	44 (1)
計	70	84 (10)	81 (5)

() 内は女子学生で内数である。

奨学生数 (平成22年度実績)

(単位：人)

■準学士課程

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	計
学生数	294	374	378	356	341	1,743
日本学生支援機構	49	48	39	62	52	250
その他の奨学会	2	9	15	6	10	42
学生数に対する比率(%)	17.35	15.24	14.29	19.10	18.18	16.75

■専攻科

	第1学年	第2学年	計
学生数	82	75	157
日本学生支援機構	10	10	20
その他の奨学会	0	0	0
学生数に対する比率(%)	12.20	13.33	12.74

出身地別在学者数

平成23年4月1日現在

区分	1年	2年	3年	4年	5年	計
宮城県						
仙台市	115 (21)	120 (19)	156 (18)	165 (30)	150 (28)	706 (116)
名取市	24 (2)	24 (2)	25 (2)	21 (3)	22 (4)	116 (13)
岩沼市	9 (3)	14 (0)	14 (2)	12 (5)	8 (0)	57 (10)
塩竈市	7 (0)	4 (1)	9 (2)	4 (1)	3 (0)	27 (4)
多賀城市	7 (1)	4 (2)	10 (0)	13 (1)	8 (2)	42 (6)
白石市	7 (1)	0 (0)	5 (1)	6 (1)	9 (2)	27 (5)
石巻市	8 (3)	8 (1)	16 (3)	9 (1)	11 (2)	52 (10)
気仙沼市	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)
角田市	1 (0)	2 (1)	2 (0)	7 (1)	3 (0)	15 (2)
登米市	4 (2)	4 (0)	3 (1)	6 (1)	4 (1)	21 (5)
栗原市	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (1)
東松島市	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	9 (0)
大崎市	8 (1)	9 (2)	6 (1)	8 (0)	10 (5)	41 (9)
宮城郡	15 (3)	14 (2)	13 (0)	11 (1)	11 (3)	64 (9)
亶理郡	7 (2)	4 (0)	9 (2)	8 (2)	11 (0)	39 (6)
柴田郡	14 (2)	4 (1)	11 (2)	19 (4)	11 (2)	59 (11)
刈田郡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (1)
伊具郡	2 (0)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (1)
黒川郡	4 (1)	9 (1)	8 (1)	9 (0)	6 (1)	36 (4)
加美郡	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	7 (0)
遠田郡	2 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (2)	1 (0)	9 (2)
牡鹿郡	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
本吉郡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)
県内小計	240 (42)	229 (33)	293 (35)	308 (54)	278 (52)	1,348 (216)
県外						
青森県	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	5 (0)
岩手県	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	5 (1)
秋田県	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
山形県	15 (3)	17 (3)	24 (8)	14 (3)	18 (0)	88 (17)
福島県	35 (8)	38 (13)	48 (12)	36 (9)	35 (7)	191 (49)
埼玉県	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
千葉県	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
神奈川県	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
岐阜県	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
愛知県	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
ドイツ	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
県外小計	55 (12)	60 (16)	75 (21)	51 (12)	57 (7)	298 (68)
合 計	295 (54)	289 (49)	368 (56)	359 (66)	335 (59)	1,646 (284)
県内 (%)	81.3	79.0	79.6	85.8	83.0	81.9
県外 (%)	18.7	21.0	20.4	14.2	17.0	18.1
留学生						
マレーシア	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	2 (1)	6 (2)
ラオス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (0)
インドネシア	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
ベトナム	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
小 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (1)	5 (2)	12 (3)
総 計	295 (54)	289 (49)	368 (56)	366 (67)	340 (61)	1,658 (287)

() 内は女子学生で内数である。

本校への編入学者数

	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17
機械工学科	1	0	1	0	1	2	1
電気工学科	0	0	1	0	0	1	1
建築学科	0	0	0	1	0	1	0
材料工学科	0	0	0	0	0	0	0
情報デザイン学科	0	0	0	1	1	0	0
情報通信工学科	1	2	1	1	0	1	0
電子工学科	0	0	1	1	1	0	0
電子制御工学科	0	0	3	2	0	0	0
情報工学科	1	1	1	1	2	0	1
計	3	3	8	7	5	5	3

入学志願者数の状況

■仙台高等専門学校入学者選抜試験

	合計	機械システム 工学科	電気システム 工学科	マテリアル 環境工学科	建築デザイン 学科	知能エレクトロ ニクス工学科	情報システム 工学科	情報ネットワーク 工学科
平成23年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	545	81	92	77	54	64	85	92
受験者数	536	79	91	76	53	64	82	91
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	292	42	42	42	40	42	42	42
倍率 (b/a)	1.95	2.03	2.30	1.93	1.35	1.60	2.13	2.30
平成22年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	494	82	77	81	61	56	108	29
受験者数	483	82	74	81	57	54	106	29
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	294	42	42	42	42	42	42	42
倍率 (b/a)	1.76	2.05	1.93	2.03	1.53	1.40	2.70	0.73

■宮城工業高等専門学校入学者選抜試験

	合計	機械 工学科	電気 工学科	建築学科	材料 工学科	情報 デザイン 学科
平成21年度						
入学定員 (a)	200	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	286	54	54	53	71	54
受験者数	280	54	53	53	69	51
合格者数	210	42	42	42	42	42
入学者数	208	42	42	41	42	41
倍率 (b/a)	1.43	1.35	1.35	1.33	1.78	1.35
平成20年度						
入学定員 (a)	200	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	316	78	57	63	54	64
受験者数	308	76	56	60	54	62
合格者数	205	41	41	41	41	41
入学者数	202	40	40	41	40	41
倍率 (b/a)	1.58	1.95	1.43	1.58	1.35	1.60
平成19年度						
入学定員 (a)	200	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	308	64	53	61	61	69
受験者数	303	62	52	60	61	68
合格者数	205	41	41	41	41	41
入学者数	204	41	40	41	41	41
倍率 (b/a)	1.54	1.60	1.33	1.53	1.53	1.73
平成18年度						
入学定員 (a)	200	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	335	77	67	67	46	78
受験者数	326	74	64	65	45	78
合格者数	210	42	42	42	42	42
入学者数	210	42	42	42	42	42
倍率 (b/a)	1.68	1.93	1.68	1.68	1.15	1.95

■仙台電波工業高等専門学校入学者選抜試験

	合計	情報通信 工学科	電子 工学科	電子制御 工学科	情報 工学科
平成21年度					
入学定員 (a)	160	40	40	40	40
志願者数 (b)	231	54	54	59	64
受験者数	230	53	54	59	64
合格者数	168	42	42	42	42
入学者数	166	41	42	41	42
倍率 (b/a)	1.44	1.35	1.35	1.48	1.60
平成20年度					
入学定員 (a)	160	40	40	40	40
志願者数 (b)	232	73	34	63	62
受験者数	223	69	32	62	60
合格者数	168	42	42	42	42
入学者数	168	42	42	42	42
倍率 (b/a)	1.45	1.83	0.85	1.58	1.55
平成19年度					
入学定員 (a)	160	40	40	40	40
志願者数 (b)	266	65	59	82	60
受験者数	264	64	59	81	60
合格者数	168	42	41	43	42
入学者数	167	41	41	43	42
倍率 (b/a)	1.66	1.63	1.48	2.05	1.50
平成18年度					
入学定員 (a)	160	40	40	40	40
志願者数 (b)	248	73	58	57	60
受験者数	243	70	57	56	60
合格者数	168	42	42	42	42
入学者数	165	40	41	42	42
倍率 (b/a)	1.55	1.83	1.45	1.43	1.50

卒業生の進路状況

■大学編入学等状況【平成22年度】

大 学 名	人数
室蘭工業大学	2
岩手大学	2
東北大学	10
秋田大学	2
山形大学	2
福島大学	2
茨城大学	1
千葉大学	1
東京農工大学	1
東京工業大学	1
電気通信大学	1
長岡技術科学大学	10
豊橋技術科学大学	9
名古屋大学	1
大分大学	1
広島大学	1
九州大学	1
鹿児島大学	1
札幌市立大学	1
青森県立保健大学	1
首都大学東京	1
東北学院大学	2
東北工業大学	2
宮城学院大学	1
東北芸術工科大学	2
聖学院大学	1
東海大学	1
仙台高等専門学校専攻科	87
合 計	148



企業説明会



企業見学

■大学院進学状況【平成22年度】

大 学 院 名	人数
東北大学大学院工学研究科	6
東北大学大学院情報科学研究科	2
東北大学大学院教育情報学教育部	2
筑波大学大学院システム情報工学研究科	2
東京大学大学院情報科学研究科	1
東京工業大学大学院総合理工学研究科	2
長岡技術科学大学大学院工学研究科	1
北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	1
奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科	1
合 計	18

平成22年度就職状況

名取キャンパス

産業別就職状況

	機械工学科	電気工学科	建築学科	材料工学科	情報デザイン学科	合 計
■建設業	4	1	9 (4)			14 (4)
■製造業						
食料品・飲料・たばこ・飼料	2	2				4
繊維工業				1		1
印刷・関連連業	2				1 (1)	3 (1)
化学工業・石油・石炭製品	1			5 (3)	1	7 (3)
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品		1		5 (2)		6 (2)
はん用・生産用・業務用機械器具	3			3 (1)	1 (1)	7 (2)
電子部品・デバイス	1	3		2		6
電気・情報通信機械器具	3	1				4
輸送用機械器具	2	1			1 (1)	4 (1)
その他						
■電気・ガス・熱供給・水道業	2 (1)	5	3			10 (1)
■情報通信業	1	5			5 (3)	11 (3)
■運輸業・郵便業		2				2
■卸売・小売業			1 (1)			1 (1)
■金融・保険業						
■不動産業						
■学術研究、専門・技術サービス業						
学術・開発研究機関	1					1
その他の専門・技術サービス業						
■教育、学習支援業		1				1
■医療、福祉						
■複合サービス事業	2	2	1 (1)			5 (1)
■サービス業						
■公務						
国家公務						
地方公務					2 (2)	2 (2)
合 計	24 (1)	24 (0)	14 (6)	16 (6)	11 (8)	89 (21)

() 内は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	機械工学科	電気工学科	建築学科	材料工学科	情報デザイン学科	合 計
東北地区	7	6	2 (1)	4 (2)	4 (4)	23 (7)
関東地区	13 (1)	15	9 (4)	9 (4)	7 (4)	53 (13)
その他	4	3	3 (1)	3	0	13 (1)
合 計	24 (1)	24	14 (6)	16 (6)	11 (8)	89 (21)

就職先一覧

【準学士課程】

(株)浅沼組
ANAフライトラインテクニクス(株)
(株)アルメックス
アルプス電気(株)
出光興産(株)
(株)INAXサンウェーブマーケティング
NECネットエスアイ(株)
NECフィールディング(株)
NHKメディアテクノロジー
NOK(株)
(株)NTT-ME
大阪ガス(株)
(株)大林組
オリンパス(株)
(株)協和エクシオ
(株)きんでん
ケイテック(株)
(株)ケーヒン
(株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
(独)国立印刷局
五洋建設(株)
三徳化学工業(株)宮城工場
サントリーホールディングス(株)
(株)シークス
(株)塩見設計

シマノ(株)
ジョンソンコントロールズ(株)
新日本石油(株)中央技術研究所
新興プランテック(株)
セコム工業(株)
仙台高等専門学校(技術職員)
仙台飼料(株)
ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株)
ダイキン工業(株)
大和製罐(株)
高砂熱学工業(株)
田中貴金属工業(株)
中外製薬工業(株)
中部電力(株)
(株)TKX
東海旅客鉄道(株)
東京電力(株)
(株)東芝
東燃ゼネラル石油(株)
東北大学金属材料研究所
東北電力(株)
東北特殊鋼(株)
東北発電工業(株)
東北リコー(株)
東洋インキ製造(株)
東洋刃物(株)
東レ(株)

名取市役所
ナブコシステム(株)
日東電工(株)東北事業所
日本触媒(株)
日本たばこ産業(株)
(株)日本デジタル研究所
日本電産(株)
(株)原田伸銅所
ノダック(株)
パナソニックEVエナジー(株)
(株)ハニース
東日本旅客鉄道(株)
(株)日立ビルシステム
(株)日立プラントテクノロジー
(株)フォーラムエンジニアリング
富士通(株)
フジテック(株)
本田技研工業(株)
マクセルファインテック(株)
宮城県職員
(株)三越伊勢丹ビルマネジメント
三菱電機ビルテクノサービス(株)
(株)ヤクルト本社福島工場
横河ブリッジホールディングス
レンゴー(株)

【専攻科課程】

NECフィールディング
(株)NTT-ME
(株)エンジニアリング&サービス
大岡技研(株)
(株)感動ハウス
京セラコミュニケーション(株)
建装工業(株)
JR東日本ビルテック(株)
シャープ(株)
新興プランテック(株)
住友ベークライト(株)
西部鉄道(株)
千住金属工業(株)

ダイタン(株)
高砂熱学工業(株)
(株)竹中工務店
田中貴金属工業(株)
(株)データウェイシステムズ
鉄建建設(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)日立製作所
三菱電機ビルテクノサービス(株)
リコーテクノシステムズ(株)
ローランド(株)
和興エンジニアリング(株)
伊達市役所

求人及び就職状況

	機械工学科	電気工学科	建築学科	材料工学科	情報デザイン学科
卒業者数	43	40	35	35	34
進学その他	19	16	21	19	23
就職者数	24	24	14	16	11
求人企業	226	237	103	118	111
求人数	230	243	109	119	113

広瀬キャンパス

産業別就職状況

	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合 計
■建設業	3	1			4
■製造業					
食料品・飲料・たばこ・飼料					
繊維工業					
印刷・同関連業					
化学工業・石油・石炭製品		1			1
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品					
はん用・生産用・業務用機械器具		1	3		4
電子部品・デバイス		1	1		2
電気・情報通信機械器具	2	4	8	2 (1)	16 (1)
輸送用機械器具	2		1		3
その他	1	1	2		4
■電気・ガス・熱供給・水道業	3	1	1		5
■情報通信業	6 (2)	4	2	6	18 (2)
■運輸業・郵便業		1		1	2
■卸売・小売業					
■金融・保険業					
■不動産業					
■学術研究、専門・技術サービス業					
学術・開発研究機関					
その他の専門・技術サービス業	4	6	5	7	22
■教育、学習支援業					
■医療、福祉					
■複合サービス事業					
■サービス業					
■公務					
国家公務		1		1	2
地方公務					
合 計	21 (2)	22	23	17 (1)	83 (3)

() 内は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合 計
東北地区	7	3	5	1	16
関東地区	12	14	16	15	57
その他	2	5	2	1	10
合 計	21	22	23	17	83

就職先一覧

【準学士課程】

会津オリンパス(株)
アドバンソフト開発(株)
(株)アルファシステムズ
アルプス電気(株)
(株)アルメックス
NECネットエスアイ(株)
(株)NHKアイテック
(株)NTTエムイー
NTTコミュニケーションズ(株)
NTTコムウェア東日本(株)
大阪ガス(株)
海上保安学校
開発電子技術(株)
キャノン・コンポーネンツ(株)
キャノンシステムアンドサポート(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
(株)クエスト
工藤電機(株)
ケイテック(株)
(株)KSF
(株)KDDIテクニカルエンジニアリングサービス
(株)ケーヒン
コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)
コニカミノルタビジネステクノロジー(株)
COM電子開発(株)

サンライズ・エンジニアリング(株)
サンリットオートメーション(株)
総合警備保障(株)
(株)ソーリンク
ダイキン工業(株)
チェスト(株)
通研電気工業(株)
(株)椿本チェーン
(株)ティー・エス・シー
(株)TTK
(株)データウェイシステムズ
デジタルテクノロジ(株)
電源開発(株)
東京エレクトロンAT(株)
東京電力(株)
(株)東芝
東芝エレベータ(株)
東北インテリジェント通信(株)
東北交通機械(株)
東北電力(株)
ドコモエンジニアリング東北(株)
日進工具(株)
日東電工(株)東北事業所
日本オーチス・エレベータ(株)
日本貨物鉄道(株)東北支社
日本信号(株)

日本電算機販売(株)
日本電子(株)
日本電設工業(株)
日本放送協会
日本リーテック(株)
任天堂(株)
(株)PFU
東日本旅客鉄道(株)
日立コンシューマ・マーケティング(株)
(株)日立情報システムズ
(株)日立ハイテクノロジーズ
(株)日立メディコ
(株)ビッツ
フィット産業(株)
富士ゼロックス東京(株)
(株)富士通アドバンストソリューションズ
(株)富士通エフサス
(株)富士通システムソリューションズ
フジテック(株)
富士電機(株)
古河電池(株)
(株)前川製作所
三菱電機エンジニアリング(株)
三菱電機ビルテクノサービス(株)
八木アンテナ(株)
横河フィールドエンジニアリングサービス(株)

(株)リコー
リコーテクノシステムズ(株)

【専攻科課程】

(株)岩手朝日テレビ
(株)ウィッツ
(株)NTTエムイー
(株)開発電子技術(株)
(株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
セイコーインスツル(株)
(株)TTK
東京エレクトロンAT(株)
東芝ITサービス(株)

東北インテリジェント通信(株)
ネットワークサービスアンドテクノロジー(株)
パナソニック(株)AVCネットワークス社
集電気(株)
東日本旅客鉄道(株)東北工事事務所
(株)日立製作所
富士通(株)
古河電池(株)
三菱重工業(株)横浜製作所

求人及び就職状況

	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科
卒業者数	40	42	35	33
進学その他	19	20	12	16
就職者数	21	22	23	17
求人企業	426			
求人数	518			

学校行事

仙台高専では年間を通じおおよそ次のような行事があります。

4月	入学式
5月	校内スポーツ大会
6月	高校総体 第2学年校外ホームルーム（広瀬キャンパス） 前期中間試験
7月	東北地区高専体育大会 オープンキャンパス
8月	夏季休業（～9月） 全国高専体育大会
9月	前期期末試験 第3学年合宿研修（広瀬キャンパス）

10月	ロボットコンテスト東北地区大会 プログラミングコンテスト 高専祭
11月	第4学年研修旅行 ロボットコンテスト全国大会 吹奏楽定期演奏会（広瀬キャンパス） デザインコンペティション（名取キャンパス） 後期中間試験
12月	ブラスバンドコンサート 冬季休業
2月	学年末試験 第5学年卒業研究発表
3月	卒業式 学年末休業



入学式



スポーツ大会



高専体育大会



オープンキャンパス



ロボットコンテスト



高専祭



第4学年研修旅行



卒業研究発表

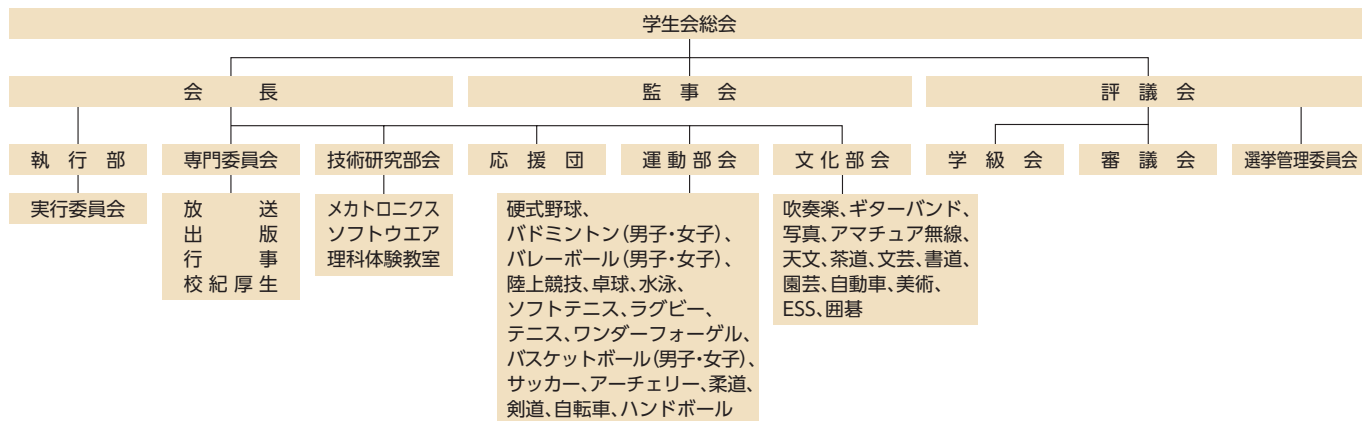


卒業式

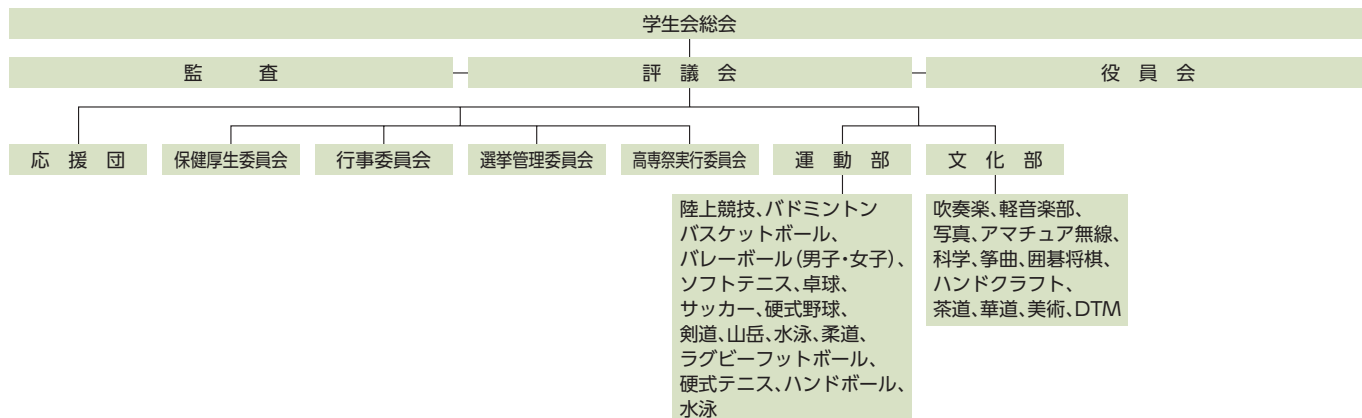
学生会

学生会は学生全員で構成される組織で、執行部、評議会、技術研究会、文化部会、運動部会、応援団などの組織からなります。クラブ活動のほかに、スポーツ大会、高専祭、他高専との親善交流など、多彩な行事を行っています。

◆名取キャンパス



◆広瀬キャンパス



剣道部



アーチェリー部



テニス部



サッカー部



柔道部



吹奏楽部



水泳部



箏曲部



アマチュア無線部



陸上競技部

学寮

名取キャンパス

名取キャンパス萩花寮の定員は213人（男子142人、女子71人）で南寮、北寮、東寮、女子寮及び西寮の5棟があり、居室には学習机、椅子、ロッカー及びベッド棟が備え付けられ、2人部屋と1人部屋があります。

また、各棟には共同使用の自習室、談話室、補食室等もあり、別棟には学習室、食堂、浴室、シャワー室等が完備されています。

寮生数

（単位：人）

	機械システム 工学科	電気システム 工学科	マテリアル 環境工学科	建築 デザイン 学科	機械 工学科	電気 工学科	建築学科	材料工学科	情報 デザイン 学科	合 計
第1学年	7 (1)	10 (1)	10 (6)	15 (3)						42 (11)
第2学年	6	9	8 (1)	11 (4)						34 (5)
第3学年					7	9	7 (2)	13 (3)	6 (3)	42 (8)
第4学年					13 [1]	7	7 (3) [1]	8 (2) [2]	6 (3)	41 (8) [4]
第5学年					6 [1]	7 (2)	11 (1)	6 [1]	11 (7)	41 (10) [2]
計	13 (1)	19 (1)	18 (7)	26 (7)	26 [2]	23 (2)	25 (6) [1]	27 (5) [3]	23 (13)	200 (42) [6]

（ ）内は女子学生で内数である。〔 〕内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月	入寮式、歓迎夕食会
7月	寮祭
10月	野外食
12月	クリスマスパーティー
2月	予餞会



萩花寮（名取キャンパス）



萩花寮 食堂

広瀬キャンパス

広瀬キャンパス松韻寮の定員は162人（男子寮116人、女子寮46人）で、男子寮（北寮）、女子寮及び南寮の3つの建物が食堂を中心に配置されています。南寮には留学生、海外からの研修生、専攻科生が入居しています。

また、3棟は学校と隣接しているので、研究や実験、クラブ活動に打ち込む寮生が多くなっています。

寮生数

（単位：人）

	知能エレクトロ ニクス工学科	情報システム 工学科	情報ネット ワーク工学科	情報通信 工学科	電子工学科	電子制御 工学科	情報工学科	専攻科	合 計
第1学年	16 (1)	10 (3)	9 (1)					5	40 (5)
第2学年	9 (1)	8 (2)	7 (2)					4	28 (5)
第3学年				8 (2)	11 (2)	6 (2)	6 (1)		31 (7)
第4学年				6 (2)	4	10 [1]	3 [2]		23 (2) [3]
第5学年				5 [1]	5 (1) [1]	3 (1) [1]	6		19 (2) [3]
計	25 (2)	18 (5)	16 (3)	19 (4) [1]	20 (3) [1]	19 (3) [2]	15 (1) [2]	9	141 (21) [6]

（ ）内は女子学生で内数である。〔 〕内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月中旬	新寮生歓迎会
7月中旬	夏祭り
12月中旬	冬祭り
1月上旬	新年会（餅つき）
2月上旬	卒寮式・卒寮生夕食会



松韻寮（広瀬キャンパス）



松韻寮 新年会（餅つき）

学生相談室

学生相談室は、学生の悩みを共に考え、問題解決のお手伝いをするために設置されているものです。学生相談室のスタッフは、定期的に来校するカウンセリングの専門家と、いつでも相談できる校内相談員です。なお、学生だけでなく、保護者からの学生に関する相談にも応じる体制を取っています。

名取キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	毎週水曜日 午前11時30分～午後6時 毎週金曜日 午前8時30分～午後5時
校内相談員（3名）	随時



相談室

広瀬キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日（原則として毎週） 木曜日（第2・4） 午後3時～6時
〃	木曜日（第1・3） 金曜日（原則として毎週） 午後3時～6時
校内相談員（6名）	随時



FD講演会

特別支援教育推進室

特別支援教育推進室は、発達障害者支援法に基づいて広瀬キャンパスに設けられた組織です。自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害などの障害を持つ学生に対して、教員による支援グループを結成して、障害の状態に応じて適切な支援を行うことを目指しています。



入口（カードキーで入室）



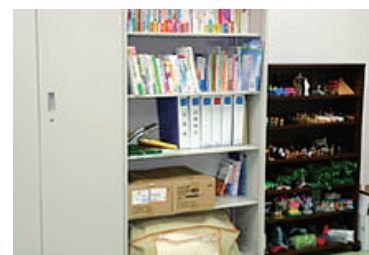
お茶も飲めます



カウンセリングのための空間



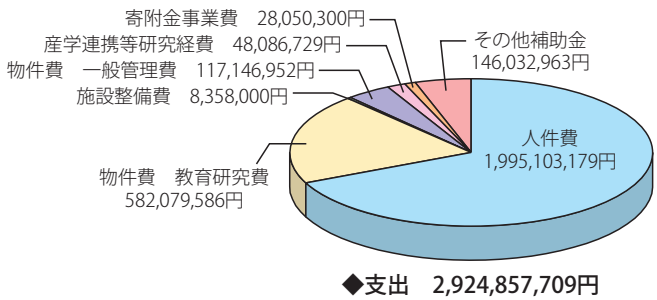
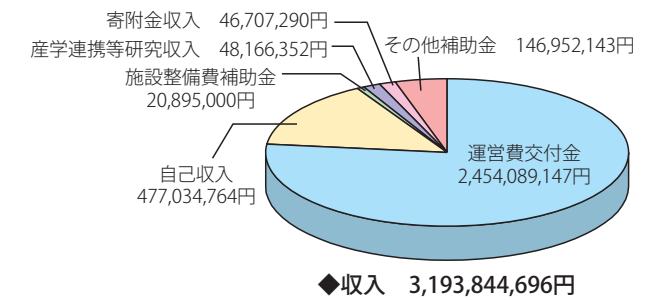
カウンセラーの先生（執務中）



関連書籍と“いやし”のアイテム

財務

■収入・支出決算額 【平成22年度決算】（名取キャンパス・広瀬キャンパス合算）



土地・建物

■名取キャンパス

単位：m ²					
校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	その他	計	職員宿舍敷地
43,609	11,771	30,269	28,796	114,445	6,878
名 称					
建築・電気棟	1965	R	3	1,501	
機械・材料棟	1965	R	3	913	
創造教育センター	1964	S	1	536	
ボイラー室	1964	R	1	89	
守衛室	1964	R	1	14	
屋外便所	1966	B	1	9	
倉庫	1964	R	1	90	
体育館・器具入室	1966	S	1	1,008	
東寮	1964	R	3	1,141	
南寮	1965	R	3	553	
寮管理棟	1965	R	1	55	
学習室	1964	R	1	46	
ポンプ設備室	1996	S	1	40	
食品庫	1966	B	1	23	
プール付属室	1966	B	1	51	
準備室	1966	R	1	53	
体育器具庫	1968	B	1	23	
武道場	1968	S	1	356	
西寮	1969	R	3	278	
浴室	1969	R	1	97	
防災実験室	1969	R	1	140	
北寮	1969	R	4	989	
創造教育センター	1970	S	1	96	
屋外便所	1970	B	1	9	
体育器具庫	1970	B	1	83	
電子計算機室	1972	R	1	303	
更衣室	1972	B	1	33	
弓道場	1971	S	1	78	
図書館	1973	R	2	1,602	
図書館渡廊下	1973	R	2	36	
合宿研修施設	1977	S	1	215	
第2体育館	1978	S	1	882	
創造教育センター	1978	S	2	400	
簡易給水施設	1979	S	1	79	
事務棟	1981	R	2	671	
福利施設	1983	R	2	844	
課外活動用器具庫	1983	B	1	111	
女子寮	1988	R	3	604	
車庫	1990	S	1	144	
受変電室	1991	R	1	45	
情報デザイン棟	1995	R	4	2,207	
専攻科棟	1999	R	4	1,129	
総合科学教育棟	1999	R	5	3,920	
専門共同教育棟・地域イノベーションセンター	2000	R	4	1,337	
課外活動用器具庫	2007	S	1	20	

■広瀬キャンパス

単位：㎡

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	計		
48,427	15,697	39,320	103,444		
名 称		設置年度	構造	地上階	面積
3号棟		1974	RC	4	2,799
4号棟		1974	RC	2	2,011
5号棟		1976	RC	1	306
6号棟		1977	RC	2	788
6号棟		1978	RC	3	1,722
7号棟		1981	RC	2	786
8号棟		1986	RC	4	2,850
9号棟（地域イノベーションセンター）		1994	RC	2	463
10号棟		1995	RC	3	939
11号棟（創造教育棟）		2003	RC	3	1,538
1号棟（管理棟）		1974	RC	2	735
車庫		1974	RC	1	162
守衛室		1974	RC	1	29
プロパン格納庫		1974	RC	1	11
物品倉庫		1974	CB	1	183
書類倉庫		1974	W	2	116
2号棟		1974	RC	2	1,601
第1体育館（含管理室）		1974	S	1	1,021
第2体育館（　　）		1983	S	1	893
武道館（柔剣道場）		1974	S	1	225
屋外運動場付属施設		1976	CB	1	159
部室		1974	S	1	228
倉庫		1974	S	1	40
合宿研修所		1978	RC	1	200
厚生会館		1985	RC	2	896
女子更衣室		1990	CB	1	33
南寮		1975	RC	5	1,905
北寮		1984	RC	5	3,025
女子寮		1982	RC	4	917
設備機械室		1974	RC	1	198

教育・研究等活動

外部資金受入状況（平成22年度）

■文部科学省等採択プロジェクト

研究種目	金額
ものづくり分野の人材育成・確保事業 「IT開発マネジメント力を高めるソフトウェアものづくり 人材育成教育・研修」	8,843
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム 「超広域連携に立脚した高専版組込みスキル標準の開発 と実践」	70,575
大学教育・学生支援推進事業【テーマA】 大学教育推進プログラム 「学生国際交流事業における教育の質の保証」	20,640
質の高い大学教育推進プログラム 「教学パーティーによる学習コンダクター育成」	18,000
地域再生人材創出拠点の形成 PBLによる組込みシステム技術者の養成	49,375
計	167,433

単位：千円 間接経費含む

■科学研究費等補助金

研究種目	件数	金額
基盤研究（B）	4	18,590
基盤研究（C）	13	20,670
挑戦的萌芽研究	1	500
若手研究（B）	11	16,996
新学術領域研究	1	3,250
奨励研究	4	2,050
厚生労働科研費	1	4,497
計	35	66,553

単位：千円 間接経費含む

■共同研究

件数	金額
20	5,240

単位：千円 間接経費含む

■受託研究

件数	金額
12	11,229

単位：千円 間接経費含む

■寄附金

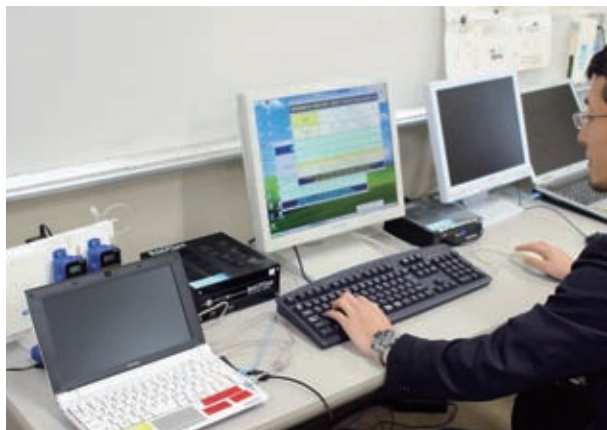
件数	金額
30	46,679

単位：千円 間接経費含む

寄附研究部門「住環境システム開発研究部門（空調企業）」

本校（名取キャンパス）は、空調企業株式会社（宮城県仙台市）からの寄附により、平成22年1月1日、地域人材開発本部地域イノベーションセンター内に寄附研究部門「住環境システム開発研究部門（空調企業）」を設立しました。

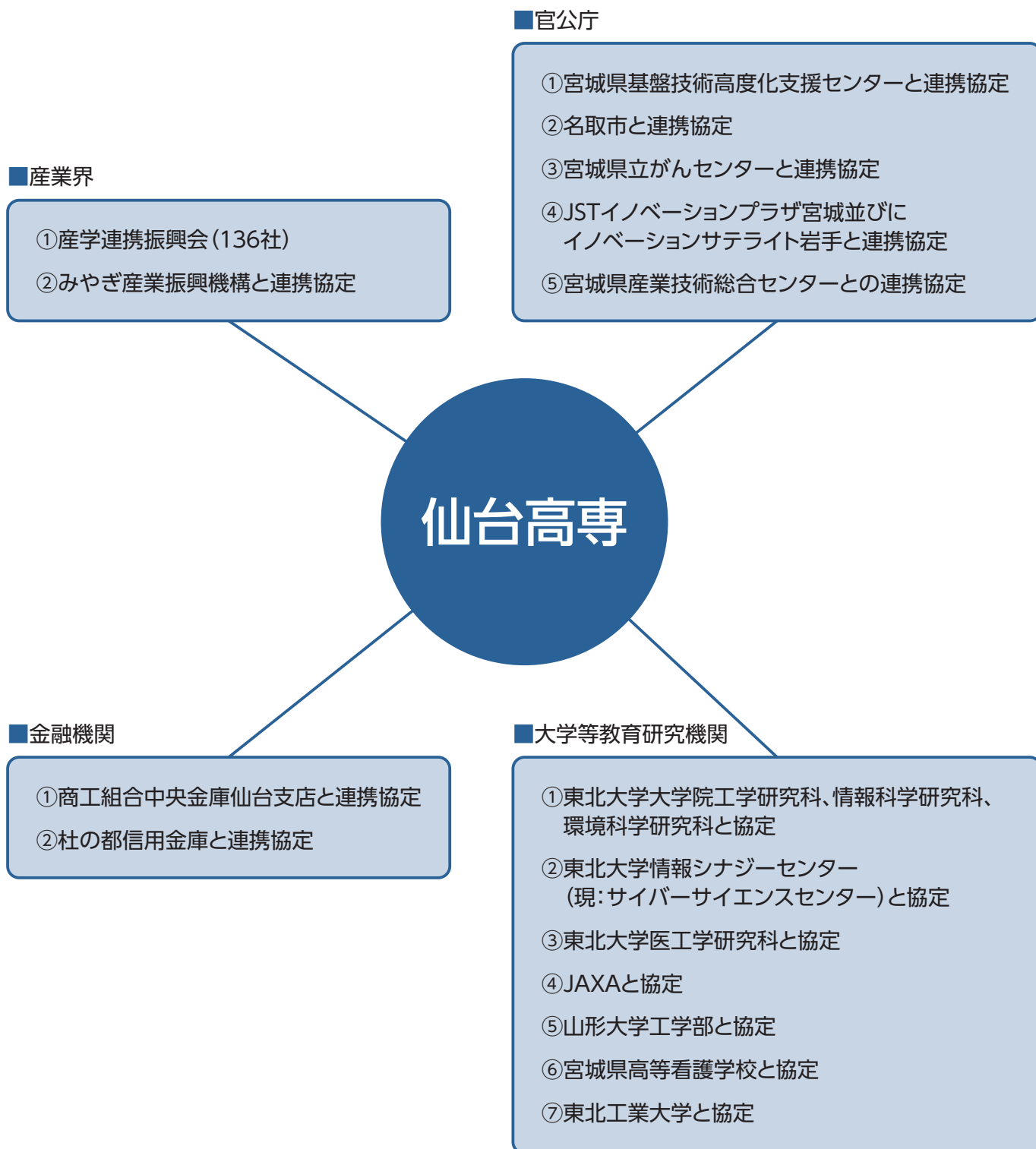
本研究部門は、地元企業との連携・協力のもと、①室内環境改善機器の開発及び性能検証、②住環境の改善手法の総合的な技術開発と研究及び空間内の設備機器とそのエネルギー消費量の予測・制御を行うシステムの開発、③環境・エネルギー・安全・健康に関連する分野を中心に、地域の市民生活の向上と産業振興に寄与することを目的とします。



室内環境改善機器BACflex（最適自動空調システム）

産学官金連携(協定)一覧

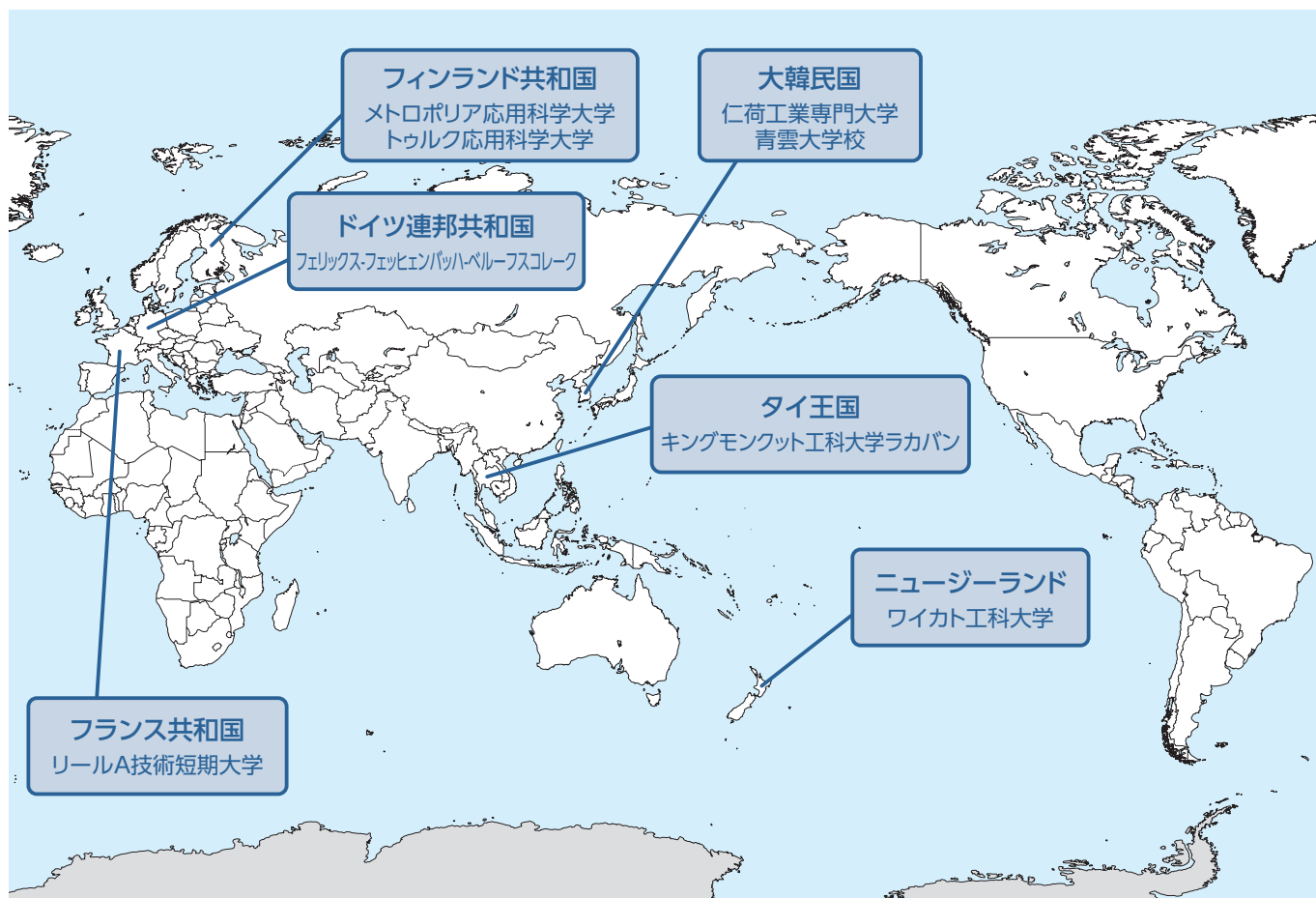
平成23年4月1日現在



学術交流協定締結校一覧

平成23年4月1日現在

相手国	大学等名	協定締結年月日
大韓民国	仁荷工業専門大学	宮城高専 1991年10月29日 仙台高専 2009年10月1日
	青雲大学校	宮城高専 2009年1月29日 仙台高専 2009年10月1日
フィンランド共和国	メトロポリア応用科学大学	宮城高専 2002年3月26日 仙台電波高専 2006年9月11日 仙台高専 2009年10月1日
	トゥルク応用科学大学	仙台電波高専 2009年1月20日 仙台高専 2009年10月1日
ドイツ連邦共和国	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベラーフスコレーク	宮城高専 2003年3月18日 仙台高専 2009年10月1日
タイ王国	キングモンクット工科大学ラカバン	仙台電波高専 2006年3月10日 仙台高専 2009年10月1日
フランス共和国	リールA技術短期大学	仙台電波高専 2008年6月13日 仙台高専 2009年10月1日
ニュージーランド	ワイカト工科大学	宮城高専 2009年8月24日 仙台高専 2009年10月1日



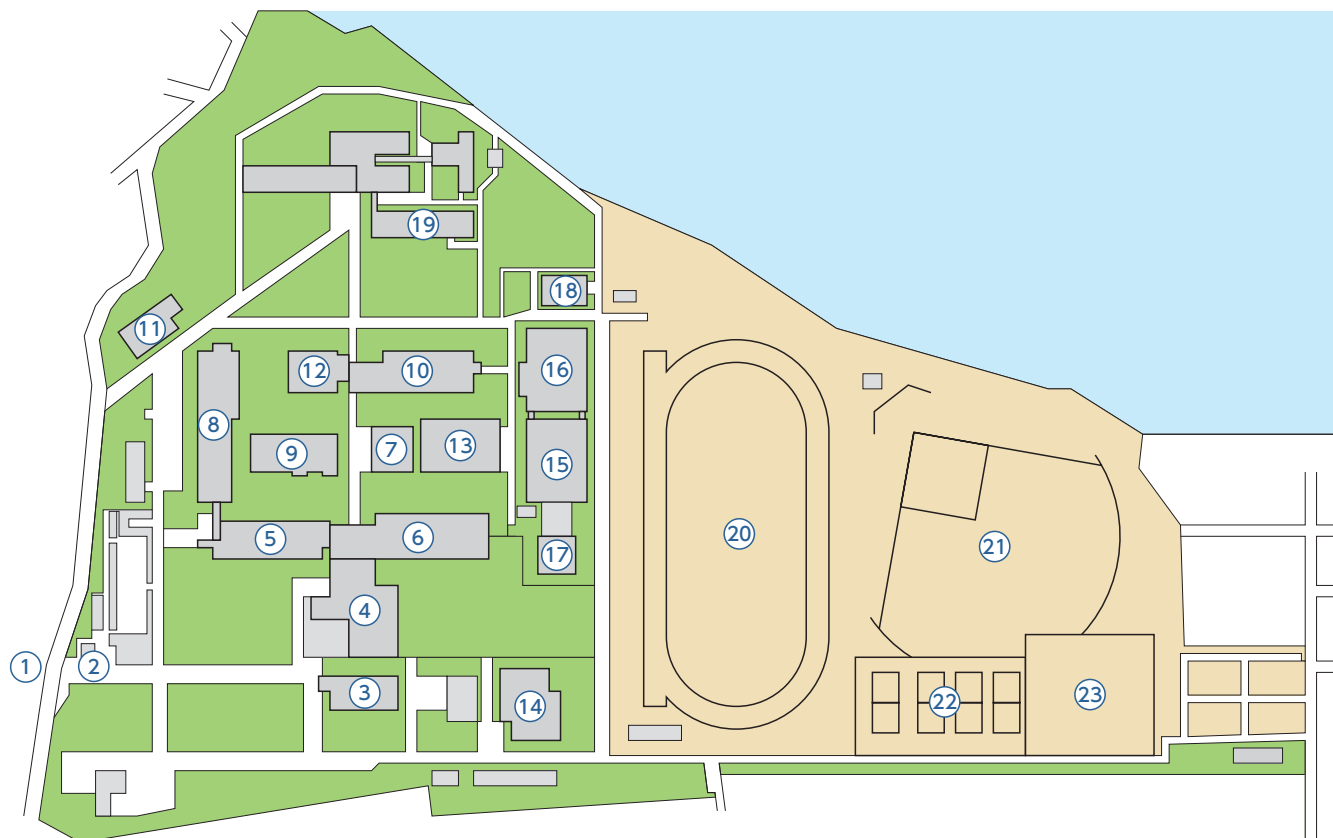
名取キャンパスマップ



- | | | |
|-------------------------|-----------|--------|
| ① 正門 | ①⑦ 野球場 | ②② 萩花寮 |
| ② 守衛室 | ①⑧ テニスコート | ②③ 事務棟 |
| ③ 第1体育館 | ①⑨ 弓道場 | |
| ④ 第2体育館 | ②⑦ 合宿研修施設 | |
| ⑤ 武道館 | ②⑧ 萩工会館 | |
| ⑥ プール | | |
| ⑦ 創造教育センター | | |
| ⑧ 機械・材料棟 | | |
| ⑨ 建築・電気棟 | | |
| ⑩ 電子計算機室 | | |
| ⑪ 情報デザイン棟 | | |
| ⑫ 専門共同教育棟・地域イノベーションセンター | | |
| ⑬ 専攻科棟 | | |
| ⑭ 総合科学教育棟 | | |
| ⑮ 図書館 | | |
| ⑯ 陸上競技場 | | |



広瀬キャンパスマップ



- | | | |
|----------------------|----------|--------------|
| ① 正門 | ①⑦ 武道館 | ②② テニスコート |
| ② 守衛室 | ①⑧ 合宿研修所 | ②③ ハンドボールコート |
| ③ 1号棟(管理棟) | ①⑨ 松韻寮 | |
| ④ 2号棟 | ②⑩ 陸上競技場 | |
| ⑤ 3号棟 | ②⑪ 野球場 | |
| ⑥ 4号棟 | | |
| ⑦ 5号棟 | | |
| ⑧ 6号棟 | | |
| ⑨ 7号棟 | | |
| ⑩ 8号棟 | | |
| ⑪ 9号棟(地域イノベーションセンター) | | |
| ⑫ 10号棟 | | |
| ⑬ 11号棟(創造教育棟) | | |
| ⑭ 厚生会館 | | |
| ⑮ 第1体育館 | | |
| ⑯ 第2体育館 | | |



アクセスマップ



名取キャンパス (旧宮城工業高等専門学校)

■ JR 利用の場合

- JR仙台駅から東北本線・常磐線・阿武隈急行線仙台空港アクセス線に乗車約12分
- JR名取駅下車、バス約10分、徒歩約25分

■ 名取市バス「なとりん号」利用の場合

- 名取駅西口のりばから、県立がんセンター線に乗車約10分、「仙台高専名取キャンパス前」下車

■ 車 利用の場合

- 東北道仙台南ICから約10km約20分
- 仙台空港から約10km約15分

■ 航空機 利用の場合

- 仙台空港から名取駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約10分。名取駅からは、徒歩もしくは名取市バス「なとりん号」をご利用ください。

広瀬キャンパス (旧仙台電波工業高等専門学校)

■ JR 利用の場合

- JR仙台駅から仙山線に乗車約25分
- JR山形駅から仙山線快速で約55分
- JR愛子駅下車、徒歩約15分

■ 仙台市営バス 利用の場合

- 仙台駅西口バスプール10番のりばから、作並温泉、定義、白沢車庫行き約42分、「仙台高専広瀬前」下車、徒歩5分

■ 車 利用の場合

- 東北道仙台宮城ICから山形方面へ約6.5km約10分
- 仙台駅から西道路、R48経由で約12.5km約30分

■ 航空機 利用の場合

- 仙台空港からJR仙台駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約25分(快速17分)。仙台駅からは、JRもしくは仙台市営バスをご利用ください。

中央教育審議会答申「高等専門学校教育の充実について —ものづくり技術力の継承・発展とイノベーションの創出を目指して—」の概要

平成20年12月24日

1. 高等専門学校教育の現状と社会経済環境の変化

- 高等専門学校は、中学校卒業後からの5年一環の準学士課程とそれに続く2年間の専攻科での実践的教育により、実践的・創造的な技術者を養成
- 卒業生の高い就職率・求人倍率に見られるように、社会から高く評価
- 社会経済環境の変化:高等教育のユニバーサル化、技術の高度化、15歳人口の減少、理科への関心の薄れ、進学率の上昇、地域連携強化の必要性の高まり、行財政改革の進展

2. 高等専門学校教育の充実の方向性

【基本的考え方】

- それぞれの高等専門学校が自主的・自立的改革に不断に取組み、社会経済環境の変化に積極的に対応
- 中堅技術者の養成から、幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成へ
- 多様な高等教育機関のうちのひとつとして本科・専攻科の位置付けを明確に
- 産業界や地域社会との連携を強化し、ものづくり技術力の継承・発展を担いイノベーション創出に貢献する技術者等の輩出へ

【具体的方策】

- ①教育内容・方法等の充実
 - 地域の産業界等との幅広い連携の促進、「共同教育」の充実
 - 一般教育の充実
 - 技術科学大学との連携の強化
 - 自学自習による教育効果も考慮した単位計算方法の活用
 - 退職技術者を含む企業人材等の活用
- ②入学者の確保及び多様な学生への支援
- ③大学への編入学者増加への対応
- ④教育基盤の強化
 - 教員等の確保、FDの実施等、施設・設備の更新・高度化、事務部門強化、財政支援の充実
- ⑤教育研究組織の充実
 - 科学技術の高度化等に対応した学科のあり方の見直し
 - 工業・商船以外の新分野への展開
 - 地域のニーズを踏まえた専攻科の整備・充実等
 - 地域と連携しつつ国立高等専門学校の再編・整備について検討
- ⑥高等専門学校の新たな展開
 - 公立の専門高校や大学校等を基に新たな公立高等専門学校を設置する可能性を含め、潜在的需要を発掘し、需要がある場合には支援方策等について検討
- ⑦社会との関わりの強化
 - 留学生受入れ、教員の海外派遣、海外技術協力など国際的な展開の推進
 - 広報活動強化による認知度向上、共同研究の推進、公開講座等の展開



仙台高等専門学校
Sendai National College of Technology

Mail : soumu@sendai-nct.ac.jp (総務課)

URL : <http://www.sendai-nct.ac.jp/>

名取キャンパス 住所：〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山 48 番地
広瀬キャンパス 住所：〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央 4 丁目 16 番 1 号

TEL : 022-381-0253 (代) **FAX :** 022-381-0255 (代)
TEL : 022-391-5508 (代) **FAX :** 022-391-6144 (代)

編集・発行 仙台高等専門学校 総務課 2011 年 7 月 発行

